

令和3年度

教育委員会自己点検・評価
報告書

塩尻市教育委員会

目 次

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要	1
事業部ミッション	5
こども教育部	5
生涯学習部	9
事務事業評価シート	13
こども教育部	13
生涯学習部	25
教育委員会個別計画成果指標等	36
塩尻市教育振興基本計画	36
元気っ子育成支援プランⅢ	38
塩尻市生涯学習推進プランⅢ	40
塩尻市スポーツ推進計画	41
図書館サービス計画	43
子ども読書活動推進計画	44
令和2年度 塩尻市教育委員会会議等記録	45

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要

(1) 制度導入の経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成19年6月）により、すべての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされました。

これにより、塩尻市教育委員会においては平成21年度（平成20年度事業）から制度の導入を行い、自己点検・評価を行っています。

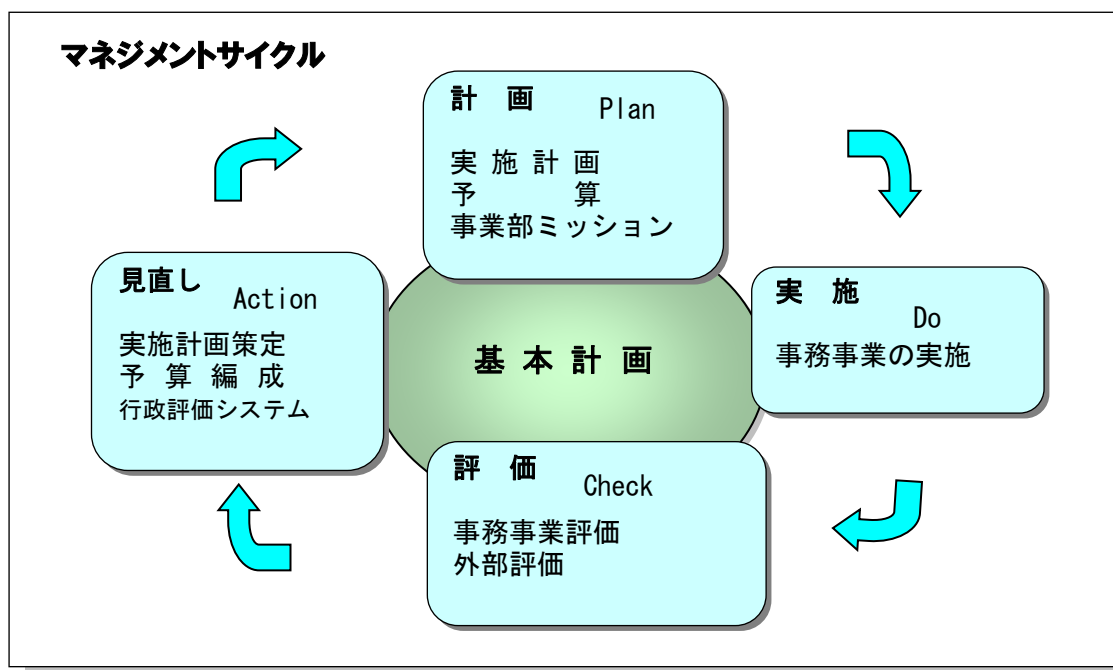
(2) 制度導入の目的

ア 市民により近い存在としての教育委員会

自己点検・評価を広く公表することにより、教育委員会としての説明責任を果たし、市民により近い存在としての教育委員会を目指します。

イ 質の高い効率的な事務の実現

事業部ミッションに基づき事業を実施することはもちろんのこと、評価や検証をしながら改善を行うことにより、事業の効果を高めるマネジメントサイクル **Plan : 計画 → Do : 実施 → Check : 評価 → Action : 見直し** の確立を図り、限られた財源や人員を有効に活用していきます。



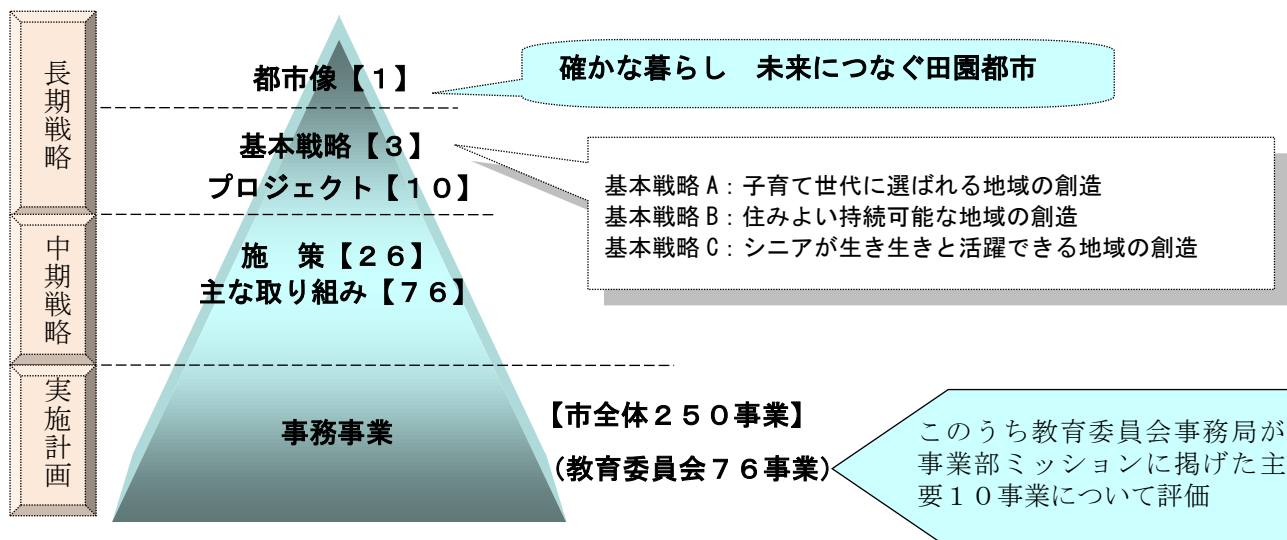
ウ 効果的な事業の運営

事業の妥当性、効率性及び有効性などの視点から評価を行い、より効果的な事業の運営を図ります。

(3) 評価対象事業

教育委員会事務局（こども教育部、生涯学習部）が実施した事業の中で、各部が事業部ミッションとして掲げた事業のうちの10事業について自己点検評価を行います。

【第5次塩尻市総合計画の施策体系】



○教委委員会関係事業等の内訳

	行政評価システム (市企画課)	教育委員会	
	事務事業数	事業部ミッション (年度当初に作成)	自己点検・評価 対象事業
こども教育部	44	2	5
生涯学習部	32	6	5
合計	76	8	10

(4) 評価のプロセス

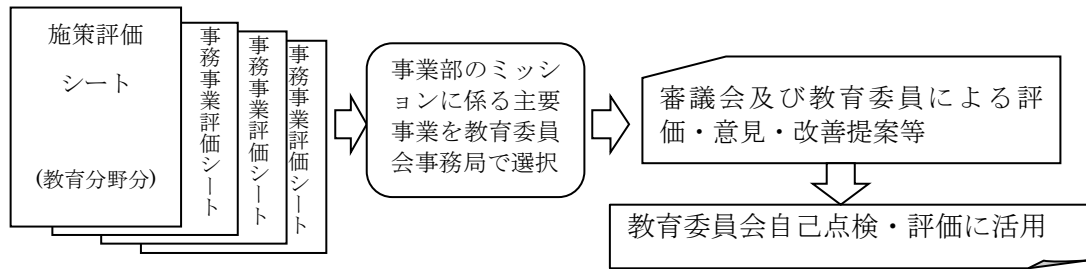
市で実施している行政評価システムにおいて作成した事務事業評価シートを活用し、教育委員会（教育長・教育委員）による評価と塩尻市教育振興審議会による外部評価を行っております。評価に対して担当課により改善内容を策定しております。

■第5次塩尻市総合計画の行政評価システム（市企画課実施）の活用

（行政評価システムでは、担当課にて自己点検・評価を実施しております。）

実施時期	R3年6月～7月	R3年9月～11月
評価名	R2事後評価	R3事中評価
目的・活用	<ul style="list-style-type: none"> 評価指標の分析 決算説明資料への活用 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の課題抽出 改革、改善案の提案 次年度の予算編成に活用 (予算との連動)

イメージ図



(5) 塩尻市教育振興審議会について

教育委員会では、自己点検・評価の客観性を確保し、自己点検・評価活動の質的向上を図るため、令和3年10月12日に塩尻市教育振興審議会へ塩尻市教育委員会の自己点検評価について諮問しております。

塩尻市教育振興審議会は、教育に関し学識を有する者で構成されており、自己点検・評価等に関する審議をお願いしております。

塩尻市教育振興審議会

1 審議会の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の施策及び事務事業に関する管理及び執行の状況の点検及び評価について審議を行う。

2 審議会委員について

(1) 委嘱期間 令和2年2月から2年間

(2) 審議会委員 3人

- ・有路 憲一 氏 信州大学全学教育機構 准教授
- ・今村 篤史 氏 松本大学総合経営学部 専任講師
- ・中野 達郎 氏 行政経験者

(3) 審議日程

第1回 令和3年10月12日

第2回 令和3年11月9日

【参考 関係例規】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○塩尻市教育振興審議会条例

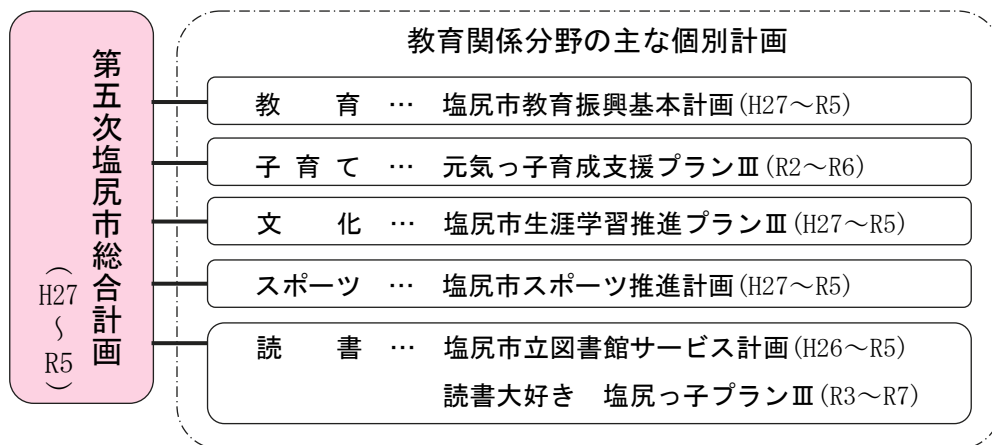
(任務)

第2条 審議会は、塩尻市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、次の事項について調査審議する。

- (1) 教育基本法(平成18年法律第120号)第17条第2項の規定による教育振興基本計画の策定等に関する事項
- (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定による教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事項
- (3) その他教育委員会が必要と認める事項

(6) 教育委員会関係個別計画の進捗状況について

教育委員会では、主要な個別計画を第5次塩尻市総合計画と整合を図りながら策定し、事業を実施しております。個別計画についても計画の実施状況を確認し、事業の見直し等を図るため、成果指標等により進捗状況を検証しております。



()内は計画期間

事業部ミッション1

安心して子どもを産み育てることができる環境を充実するため、妊娠、出産から子育てまで切れ目のない支援体制の一層の充実を図るとともに、子育ての負担軽減や家庭教育の支援、仕事と育児の両立支援などを推進する。
また、相談体制を拡充するとともに、子どもの貧困を防ぐための包括的な支援を行い、子育て支援の充実を図る。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[R3]	[R4]	[R5]	
1	1-1-1 保健と医療の充実	医学生奨学金制度の利用者数	-	-			1
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	1 子どもを産み育てる環境の整備	施策	1-1 出産・子育てサポート体制の充実		
	3年間の概要	○産科医等の育成に向けた「医学生奨学金制度」の創設・運用					
	当面の課題	・制度運用については、事前周知が必要なことから、市議会9月定例会に向けて、制度設計や関係例規の整備が必要となる。					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
医学生奨学金制度創設事業	教育総務課	庁内検討チームにおいて制度設計等を行い、令和4年4月の制度創設・運用を開始する。					

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[R3]	[R4]	[R5]	
2	1-1-2 地域の子育て力の強化	子育てに対して希望や期待より不安や負担を感じる女性の割合	4.4%	[R2]			維持
		子育て支援センタープレイルーム利用者数	34,756人	[R1]			35,600人
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	1 子どもを産み育てる環境の整備	施策	1-1 出産・子育てサポート体制の充実		
	3年間の概要	○子育て支援センター、北部子育て支援センターにおける子育て世帯の遊びと交流の場の提供 ○ファミリーサポート(子育て相互援助活動)の推進 ○家庭や地域に向けた子育て情報の提供及び育児相談の実施					
	当面の課題	・家庭内での愛着の形成を図りつつ、地域で安心して子育てできる環境を充実させる必要がある。 ・父親のプレイルームの利用が増加していることから、父親の育児参画に向けての取組みを充実させる必要がある。					
当年度事務事業	主管課	当年度事業内容					
子育て支援センター事業	こども課	・プレイルームの運営、各種講座の開催により、0~3歳児の親子に対して、遊びと交流の場や子育て情報を提供する。 ・父親の育児参画に向けて、父親が子育てへのかかわりを深めるきっかけづくりとなる支援を行う。					
ファミリーサポートセンター事業	こども課	・地区ごとでの交流会の開催や、子育てサロンへ出向き、ファミリーサポート事業を周知し、新規利用者の拡大を図る。 ・3か月未満児のサポートを希望する家庭を職員が訪問し、事業を周知することで早期の事業利用に繋げる。					
こども広場事業	こども課	・未就学児に対して、安全な遊び場の提供や子育てに関する講座等を開催する。					

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[R3]	[R4]	[R5]	
3	1-2-1 幼児教育・保育環境の充実	希望の保育園に就園している園児の割合	99.3%	[R1]			維持
		保育園児保護者の保育園に対する満足度	92.1%	[R2]			維持
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	1 子どもを産み育てる環境の整備	施策	1-2 安心して子どもを預けられる環境の充実		
	3年間の概要	○公立保育園15園の運営 ○老朽化した保育園施設の改修、維持管理による施設の延命と、安心安全で快適な保育環境の確保 ○保育園の給食調理業務のプロポーザル方式による外部委託と給食備品の計画的な更新による安全安心な給食の提供 ○病児・病後児保育の充実 ○保育人材ハッピーバンクの活用による人材確保 ○民間保育所に対する補助金の交付 ○公立保育園へのICT導入 ○保育園等に入園している多子世帯への保育料及び副食費減免等の実施					
	当面の課題	・保育人材の確保が継続的に必要である。 ・病児・病後児保育事業につき、新たな受け皿の確保をする必要がある。 ・老朽化が進む保育園施設の計画的な修繕、整備を行い、快適な保育環境の提供と建物の延命を図る必要がある。					
当年度事務事業	主管課	当年度事業内容					
保育所運営費	こども課	・公立保育園15園の運営を行い、保育を必要とする家庭から児童を受け入れ、健やかな成長を促すとともに、保護者の育児と就労の両立を支援する。 ・公立保育園全園に保育業務支援システムを導入し、保育の質の向上につなげる。 ・保育人材ハッピーバンクを活用し、保育に関わる人材の育成確保を図る。					
給食運営費	こども課	・良質で安心安全な給食の提供及び食育推進を目的とした調理業務委託を継続し、園児の心身の健全な成長発達を促すとともに、望ましい食習慣の定着を促進する。					
育児支援推進事業	こども課	・あそびの広場事業や世代間交流事業、子育て相談や情報交換、一時預かりなどの支援をする。 ・病児保育の実施により、親の仕事と育児の両立を支援する。 ・病児・病後児保育事業の新たな受け皿確保への検討を行う。					
民間保育所支援事業	こども課	・幼児教育・保育の無償化により、3歳以上児の保育料が無償となることに伴い、認定こども園、認可外保育施設、私立幼稚園等に負担金を交付する。					
保育補助員設置事業	こども課	・核家族化が進捗する中で、各園1名ずつの保育補助員設置により高齢者の優しさや温かさに触れることで、安心感を与えたとともに思いやりの心を育む。					
にぎやか家庭応援事業(保育料減免分)	こども課	・子育て家庭の経済的負担を軽減するため、国の幼児教育・保育の無償化に対応するとともに、本市独自のにぎやか家庭保育料等補助金により、新制度未移行幼稚園の入園料及び保育料について第3子以降は100%減免するとともに、副食費については、保育園等の区分に関わらず、第2子50%減免、第3子以降は100%減免を実施する。					
私立幼稚園支援補助金	こども課	・私立幼稚園の円滑な運営を支援するとともに、幼児教育・保育の無償化に伴い、実費徴収となった副食費について、私立幼稚園に補助金を交付し、低所得世帯及び多子世帯の3歳以上児の副食費を減免する。					
保育園大規模修繕事業	こども課	・大門保育園(昭和54年建設)の大規模改修、トイレ洋式化などを行い、施設の延命と快適な保育環境を整備する。					

事業部ミッション1

安心して子どもを産み育てることができる環境を充実するため、妊娠、出産から子育てまで切れ目のない支援体制の一層の充実を図るとともに、子育ての負担軽減や家庭教育の支援、仕事と育児の両立支援などを推進する。
また、相談体制を拡充するとともに、子どもの貧困を防ぐための包括的な支援を行い、子育て支援の充実を図る。

No.	主な取り組み		指標	現状値		進捗		目標値
				値	[基準年度]	[R3]	[R4]	[R5]
4	1-2-2 放課後児童の居場所づくりの推進		放課後児童クラブ等の申込みに対する充足率	100.0%	[R1]			100.0%
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	1 子どもを産み育てる環境の整備	施策	1-2 安心して子どもを預けられる環境の充実			
	3年間の概要	○児童館、児童クラブ、放課後キッズクラブの運営 ○小学校と連携した子どもの居場所の提供						
	当面の課題	・児童館の利用者数の増加に対応するため、施設整備について検討する必要がある。 ・放課後児童クラブ等の運営方法や利用料金の見直しが必要である。						
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容					
	児童館・児童クラブ運営費	教育総務課	・児童の健全な育成を図るため、適切な遊びや生活の場を提供する児童館や児童クラブを運営する。					
放課後キッズクラブ運営費	教育総務課	・家庭に保護者がいる児童でも利用することができる放課後キッズクラブを運営する。						
塩尻児童館建設事業	教育総務課	・利用者の増加に伴う、塩尻児童館の移転・建設のため、令和3年度において地質調査や測量等を行う。実施計画等については、公共施設マネジメント課と連携して策定する。						

No.	主な取り組み		指標	現状値		進捗		目標値
				値	[基準年度]	[R3]	[R4]	[R5]
5	1-3-1 子ども一人ひとりの成長の支援		年長児の継続相談実施率	80.6%	[R1]			80%以上
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	1 子どもを産み育てる環境の整備	施策	1-3 子育て家庭へのきめ細かな支援			
	3年間の概要	○元気っ子応援事業の推進、18歳以降の若者サポート事業としての支援の継続						
	当面の課題	・心理検査の増加に伴う対応が必要である。 ・中学校卒業後の支援体制を構築する必要がある。						
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容					
	元気っ子応援事業	家庭支援課	・小中学校へのフォローアップ、子育て応援教室、医療相談、ことばの相談などを実施する。特に、「ことばの相談」については、福祉課から移管した「ことばの教室」との連携の充実を図る。 ・元気っ子応援事業でフォローしてきた生徒（不登校、ひきこもり等）を18歳以降も若者サポート事業として、継続して支援できる仕組み作りを進める。 ・元気っ子応援事業の周知パンフレットを作成する。					

No.	主な取り組み		指標	現状値		進捗		目標値
				値	[基準年度]	[R3]	[R4]	[R5]
6	1-3-2 個々の事情を持つ家庭への支援		家庭児童相談件数	1,650	[R1]			1,810
			ひとり親の相談支援件数	1,313	[R1]			1,350
			子育ての不安や悩みなどを解消するためのサポートがなされていると感じる市民の割合	38.2%	[R2]			41.0%
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	1 子どもを産み育てる環境の整備	施策	1-3 子育て家庭へのきめ細かな支援			
	3年間の概要	○要保護児童対策地域協議会の運営等による児童虐待防止の推進と啓発 ○家庭児童相談の充実による子育て支援の推進 ○母子保健との連携による養育支援の推進 ○子どもの貧困対策等のワンストップ支援体制の構築 ○生活困窮家庭等の子どもに対する学習・生活支援 ○食事の提供や学習支援などによる子どもの居場所づくりへの支援						
	当面の課題	・コロナ禍において増加している家庭児童相談（虐待対応を含む。）への対応の強化及び人材の確保 ・相談支援システムの他部署での利用の促進 ・「子ども・若者応援協議会」の設置及び調査の実施						
	家庭支援推進事業	家庭支援課	・子育てで家庭が抱える様々な課題を解決するため、子育て世代包括支援センターと連携を図り、養育支援訪問事業や子育て支援ショートステイ事業を行うなど、関係機関と連携した相談支援により虐待等の予防を図る。 ・子ども家庭総合支援拠点を核に、要保護児童対策地域協議会のネットワークを活かし、要保護児童等の支援を適切に対応するとともに、重篤化を未然に防ぐ。 ・相談支援システムを導入し、子ども・家庭への切れ目のない適切な支援を行うとともに、業務の適正化及び効率化を図る。					
	こどもの未来応援事業	家庭支援課	・「子どもの貧困対策推進計画」を策定する。 ・「子どもの貧困対策ケースワーカー」による子どものライフステージに応じたきめ細かく包括的な支援を行う。 ・経済状況を含め、養育環境が困難な家庭を対象とした「子どもの学習・生活支援事業」を実施する。 ・子どもの居場所づくり事業補助金を交付し、子ども食堂、無料の塾等の子どもの居場所づくりを推進する。					
	児童福祉施設費	家庭支援課	・DVや虐待の被害にあった女性や子どもに対し、母子生活支援施設や助産施設など関係機関と連携して、安全な環境を確保するとともに、自立した生活に向け支援する。					
	ひとり親家庭福祉推進事業	家庭支援課	・悩みや課題等を抱えたひとり親家庭が安心して生活するために、問題解決に向けた相談支援を行うとともに、子育て、子どもの教育、就職に有利な資格取得等に係る費用などの経済的負担を軽減する。					
児童扶養手当支給事業	家庭支援課	・子どもを養育しているひとり親家庭等に対し児童扶養手当を支給する。						

事業部ミッション2

すべての子どもたちが、「社会を生き抜く力」を備え、郷土を知り、誇りと愛着をもって成長できることを目指し、「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」を、家庭、学校、地域、行政が連携して推進する。
また、GIGAスクール構想の実現に向けた取組みなど、時代の変化に対応した能力と学力の向上を図る。

No.	主な取り組み		指標	現状値	進捗		目標値	
				値【基準年度】	[R3]	[R4]	[R5]	
1	2-1-1 時代の変化に対応した学力の向上		授業でICT機器をほぼ毎日使用した中学生の割合	7.1%	[R1]		80.0%	
			スマートフォン等の利用について、家の人と約束があり、守っている小学生の割合	66.7%	[R2]		70.0%	
	全市戦略における位置付け		プロジェクト	2 教育再生による確かな成長の支援	施策	2-1 特色ある教育による知・徳・体の向上		
	3年間の概要		<ul style="list-style-type: none"> ○GIGAスクール構想の実現に向けて、児童生徒1人1台のタブレット端末を活用した情報活用能力の育成 ○児童生徒の情報モラル教育等を推進するため、情報教育担当指導主事を中心とした研修等による教職員のICT活用力の向上 ○国際理解講師やALTの配置による、英語教育や国際理解教育の推進 ○学習指導要領や教科書改訂に伴う指導書等の教材の購入 					
	当面の課題		<ul style="list-style-type: none"> ・効果的なICT活用について、教職員の意識改革や指導力向上を図る必要がある。 ・ICT機器の活用による教職員の業務改善や負担軽減を図る必要がある。 ・ALTの民間事業者委託について、JETプログラム派遣のALTを含めた業務委託等を検討する必要がある。 					
	当年度事務事業		主管課	当年度事業内容				
	教育センター情報教育推進費		教育総務課	・情報教育担当指導主事を配置し、ICT活用教育の研究や学校における授業支援等を行うとともに、教職員の業務改善のため、長野県内統一の「統合型校務支援システム」を導入する。				
	小中学校情報教育推進費		教育総務課	・パソコン等の情報機器の管理運営や、それを活用した学習活動の推進を図る。				
	小中学校新学習指導要領対応事業		教育総務課	・中学校学習指導要領改訂に伴う、指導書や教材の購入を行う。				
	小中学校GIGAスクール推進事業		教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想の実現に向けた、学習活動の一層の充実と、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を支援する。 ・ICT支援員の配置による学習支援や、学習支援コンテンツ等の活用による家庭学習を推進する。 ・国の学習者用デジタル教科書実証事業へ参加する。(小学校5校・中学校3校) 				
小学校英語活動サポート事業		教育総務課	・小学校英語教育の早期化・教科化がスタートしている。教員の英語力の向上や指導力向上を図るとともに、担任教諭、英語専科教員、国際理解講師、ALTが連携して、小学校における英語教育の推進を図る。					
2	2-1-2 健やかな成長の支援		毎日朝食を食べる中学生の割合(中3)	94.0%	[R1]		県より高	
			スマホ、タブレット、ゲーム機等の利用について、家の人との約束があり守っている小学生の割合	66.7%	[R1]		70.1%	
	全市戦略における位置付け		プロジェクト	2 教育再生による確かな成長の支援	施策	2-1 特色ある教育による知・徳・体の向上		
	3年間の概要		<ul style="list-style-type: none"> ○自校給食を堅持し、安全安心でおいしい給食の提供による児童生徒の心身の成長を支援 ○アレルギー完全除去対応の継続 ○給食食材の地産地消、食事に関する企画等の推進 ○給食費の児童手当からの徴収の拡大 ○早ね早おき朝ごはん・どくしょ市民運動の推進による生活習慣の確立と生活リズム向上の促進 					
	当面の課題		<ul style="list-style-type: none"> ・給食のアレルギー対応が必要な児童生徒の増加、給食費の未納解消への対応が必要となっている。 ・自校給食を堅持するため、安定した給食提供体制を確保する必要がある。 ・メディアへの依存、トラブル等への対応が必要である。 					
	当年度事務事業		主管課	当年度事業内容				
	小中学校給食運営事業諸経費		教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・食材の地産地消の推進、給食レストラン開催による食育活動の推進、給食費の児童手当徴収の拡大に取り組む。 ・自校給食やアレルギー対応により、安心安全なおいしい給食を提供する。 				
	こどもの未来応援事業		家庭支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民運動を行政、関係団体等が協働して推進する。 ・スマートフォン等のメディアとの付き合い方について、関係課と連携し、啓発を行う。 				
	3	2-1-3 社会や地域に親しむ心の育成		「総合的な学習の時間」に自ら課題を立てて学習活動に取り組む小学生の割合(小6)	60.4%	[R1]		72.0%
				地域と連携して実施した事業項目数	491件	[R2]		500件
全市戦略における位置付け		プロジェクト	2 教育再生による確かな成長の支援	施策	2-1 特色ある教育による知・徳・体の向上			
3年間の概要		<ul style="list-style-type: none"> ○体験学習フェスティバルの開催による親子のふれあう場の機会創出 ○学校活動における、リーダー的な存在となる児童生徒の育成 ○学校が創意工夫して実施する特色ある教育活動に対する交付金の交付 ○学校支援ボランティア、市民に対する研修や周知等によるコミュニティ・スクールの充実 ○義務教育学校設置に向けて、地域やPTAと協働による特色ある教育等の検討 						
当面の課題		<ul style="list-style-type: none"> ・市内全小中学校に導入したコミュニティ・スクールの今後の継続性が重要となる。 ・学校支援ボランティアの拡充に向けて、コミュニティ・スクールの周知が重要となる。 						
当年度事務事業		主管課	当年度事業内容					
こども未来塾等運営事業		教育総務課	・こども未来塾等の活動を通して、児童生徒の生きる力の醸成を図る。					
地域連携教育推進事業		教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援コーディネーターを配置し、コミュニティ・スクールによる地域に開かれた学校運営を推進する。 ・学校、PTA、地域と協働による「義務教育学校開校準備委員会」において、特色ある教育等の検討を進める。 					
小中学校特色ある教育活動事業		教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・「生きる力を育む交付金」を小中学校に交付し、特色ある教育活動を推進する。 ・コミュニティ・スクール活動への交付金の活用を推進する。 					

事業部ミッション2

すべての子どもたちが、「社会を生き抜く力」を備え、郷土を知り、誇りと愛着をもって成長できることを目指し、「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」を、家庭、学校、地域、行政が連携して推進する。
また、GIGAスクール構想の実現に向けた取組みなど、時代の変化に対応した能力と学力の向上を図る。

No.	主な取り組み	指標	現状値	進捗		目標値	
			値 [基準年度]	[R3]	[R4]	[R5]	
4	2-2-1 教育のセーフティネットの充実	学校生活が充実していると感じる小学生の割合(小5)	56.0%	[R1]		63.0%	
		学校生活が充実していると感じる中学生の割合(中1)	55.0%	[R1]		63.0%	
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	2 教育再生による確かな成長の支援	施策	2-2 きめ細かな支援による平等な学習機会の提供		
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校児童生徒に対する中間教室の運営、支援員の相談等による支援 ○新規不登校ゼロを目標とした取組みの推進 ○外国籍児童生徒に対する日本語学級の運営による支援や、講師の配置による少人数学習等の推進 ○特別支援講師、支援介助員の配置によるきめ細かな支援の推進 					
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒が増加傾向にある。 ・フリースクールとの連携や、ICTを活用した授業等による出席扱いの検討が必要である。 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
教育相談研究事業	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談、中間教室の運営、日本語学級の運営による、きめ細かな指導や学習支援を推進する。 ・不登校支援シートを活用した、担任教諭による早期対応を推進する。 					
小中学校教育振興諸経費	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学力向上のため、英語検定等への助成や地域の人材を活用した学習支援活動を行う。 					
まなびサポート事業	家庭支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援講師等を小中学校に配置するとともに、教職員の研修、学校現場へ助言等を行い、学校内の支援体制の強化を図る。 					

No.	主な取り組み	指標	現状値	進捗		目標値	
			値 [基準年度]	[R3]	[R4]	[R5]	
5	2-2-2 地域特性に応じた学校環境の充実	自分にはよいところがあると思う小学生の割合(小6)	83.4%	[R1]		85.0%	
		先生が自分の良い点を認めてくれていると思う中学生の割合(中3)	84.3%	[R1]		85.0%	
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	2 教育再生による確かな成長の支援	施策	2-2 きめ細かな支援による平等な学習機会の提供		
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の特別行事等の活動支援による教育内容の充実と保護者負担の軽減 ○地域児童見守りシステムの運用廃止に向けた検討や、通学路合同点検による登下校の安全確保 ○計画的な学校の改修や環境整備による教育環境の向上 ○義務教育学校設立に向けて、木曾檜川小学校の改修工事の実施 					
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の登下校時の安全対策や、良好な学習環境の確保が重要であることから、通学路合同点検による対策の実施、学校施設の改修等を行う必要がある。 ・桔梗小学校の児童増加に伴う教室不足に対応する必要がある。 ・「通学区域の調整区域指定」について、大門地区区長会からの要望もあるため、令和4年度の制度運用開始に向けて検討する必要がある。 ・県立高校再編に向けて、引き続き、長野県教育委員会との協力・連携が必要となる。 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
小中学校補助交付金	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・校外活動等の特別行事等への補助金を交付し、教育内容の充実と保護者負担の軽減を図る。 					
小中学校学校安全支援事業	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の登下校時の安全を確保するため、関係機関等と連携した通学路合同点検を行う。 ・平成19年度から導入している地域児童見守りシステムの運用廃止に向けた検討を進める。 					
義務教育学校整備事業	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月開校予定の施設一体型の義務教育学校設立に向けて、木曾檜川小学校を改修し、必要な教室等を整備する。 また、例規改正や長野県教育委員会への届出等が必要となる。 					
小中学校仮設校舎整備事業	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・桔梗小学校の児童増加に伴う教室不足を解消するために、仮設校舎(4教室分)を整備する。(リース期間5年) ・広陵中学校の仮設校舎(2教室)については、令和2年3月からリース期間5年で使用開始している。 					
小中学校長寿命化改良事業	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の建物の機能回復、多様な学習形態への対応や、省エネルギー化等の機能向上を図り、建築後80年以上の長期的な施設利用を目指すもので、令和3年度は、塩尻西部中学校の予防的改修等の設計を行う。 					
小学校防災機能強化事業	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・桔梗小学校の受水槽及び高架水槽の耐震化改修による機能強化を図る。 					
中学校大規模改修事業	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・丘中学校の屋内運動場改修、トイレの洋式化などの大規模改修を行い、教育環境を整備する。 					

No.	主な取り組み	指標	現状値	進捗		目標値	
			値 [基準年度]	[R3]	[R4]	[R5]	
6	2-2-3 教育の経済的負担の軽減	すべての児童生徒が十分に学べる支援が提供されていると感じる市民の割合	40.6%	[R2]		44.0%	
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	2 教育再生による確かな成長の支援	施策	2-2 きめ細かな支援による平等な学習機会の提供		
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○支援の必要な児童生徒の保護者に対する就学援助費の支給による就学支援 ○私立高等学校等に対する学校運営等への助成による生徒の教育環境等への支援 ○高等学校、大学等へ進学する生徒に対する奨学金の貸与による就学支援 					
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な理由により、就学が困難な家庭に対する支援の必要性が高まっており、就学機会の確保に向けた取組みを進める必要がある。 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	小中学校教育振興扶助費	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な児童生徒の保護者に対し、就学援助費及び特別支援教育就学奨励費の支給を行う。 				
高等学校等振興事業	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の生徒が通学する私立高等学校等に対し、学校運営等への助成を行う。 					
奨学金貸与事業特別会計繰出金	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校、大学等へ進学する生徒に対し、奨学金の貸与を行う。 					

事業部ミッション1

子育てや教育に関し、悩みや課題を抱える家庭に対して、相談体制を拡充し、多様化する家庭環境にきめ細かに対応した子育て支援の充実を図る。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[R2]	[R3]	[R4]	[R5]
1	1-3-2 個々の事情を持つ家庭への支援	子育ての不安や悩みなどを解消するためのサポートがなされていると感じる市民の割合	38.2%	[R2]			41.0%
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	1 子どもを産み育てる環境の整備	施策	1-3 子育て家庭へのきめ細かな支援		
	3年間の概要	ODV等の早期発見と相談体制の充実					
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による不安、差別、ストレスから、DV事案や児童虐待事案の増加への対応。 ・DV庁内連絡会議等による全庁的な支援体制の調整。 ・家庭支援課で進めている相談業務のサポートを行う「相談支援システム」の導入。 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	男女共同参画事業	社会教育スポーツ課	女性相談(DV相談を含む)の実施。				

事業部ミッション2

本市の教育環境や地域資源を活用し、「社会や地域の中での豊かな体験・経験の充実」を目標とした事業を、地域と一体となって推進することにより、子どもたちの知・徳・体の成長を支援する。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[R2]	[R3]	[R4]	[R5]
1	2-1-3 社会や地域に親しむ心の育成	地域と連携して実施した事業項目数	491件	[R2]			500件
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	2 教育再生による確かな成長の支援	施策	2-1 特色ある教育による知・徳・体の向上		
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年姉妹都市派遣の実施による交流体験の推進 ○地域全体で青少年健全育成を推進 ○子ども会育成会への支援による子ども主体の活動の促進 					
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数の減少及び子ども会の衰退。 ・ジュニア・リーダー活動に関わった青少年が、地域で活躍できるような仕組みづくり。 ・新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中での「塩嶺体験学習の家」の活用手法。 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	青少年育成事業	社会教育スポーツ課	子ども会活動の活性化、子どもたち主体による地域づくりを目指したジュニア・リーダー養成講座を実施する。新事業として、青少年育成センター主催で「情報モラル講座」を、3年かけて市内の全地区で実施する。				
青少年健全育成施設運営事業	社会教育スポーツ課	「塩嶺体験学習の家」は、新型コロナウイルス感染症が終息が見通せない中での運用開始となるが、当面は「日帰り利用のみ」での開館とする。(4/29～11/30まで)					

事業部ミッション3

歴史的資源を次世代へ継承すべき財産として、価値を高めるよう適切かつ持続的に保存するとともに、観光の集客核として活用する。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[R1]	[R3]	[R4]	[R5]
1	4-1-2 歴史的資源の保存と活用	檜川地区文化施設入館者数 奈良井・木曾平沢の重要伝統的建造物群保存地区の町並みを誇りに思う市民の割合	14,611人	[R1]			15,000人
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	4 地域資源を生かした交流の推進	施策	4-1 観光の振興		
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保存と活用に関する総合的な計画の策定 ○産業振興と観光と連携した歴史的施設の有効活用 					
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「旧中村家住宅(中村邸)」の半解体修理の時期。 ・重要伝統的建造物群保存地区をはじめとする文化財に対する所有者等の保存意識の向上と活用面の検討。 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	文化財保存活用地域計画策定事業	文化財課	令和3・4年の2か年で策定する計画の基礎となる、市内既存文化財の現況調査を開始するとともに、協議会を立ち上げ計画策定に着手する。				
檜川文化施設運営事業	文化財課	国重要文化財となった「旧中村家住宅(中村邸)」の自動火災報知設備工事を実施し、他の2館との連携を図りながら施設の有効活用を図る。					
重伝建整備事業	文化財課	奈良井宿で4件の修理事業を実施し、歴史的町並みの保全を図る。					
平出遺跡公園事業	平出博物館	国史跡である平出遺跡の適正な保存管理及び遺跡公園を活用した体験学習等の事業を実施する。					
埋蔵文化財保護事業	平出博物館	開発事業等に伴う埋蔵文化財包蔵地の発掘調査及び整理作業を実施する。また、新たな平出博物館の整備に向けた収蔵資料の再整理作業に着手する。					

事業部ミッション4

本市に根付いてきた文化資源を生かして、市民や来訪者の交流を促進するとともに、総合体育館を中心に世代を超えてスポーツに親しむ機会を提供することで、地域のにぎわいを創出する。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値	
			値 [基準年度]	[R1]	[R3]	[R4]	[R5]	
1	4-2-1 文化資源を活用した交流の促進	文化施設入館者数	36,359人	[R1]			38,000人	
		歴史文化遺産を活用した交流活動が盛んに行われて感じる市民の割合	24.8%	[R2]			30.0%	
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	4 地域資源を生かした交流の推進	施策	4-2 文化・スポーツを通じたにぎわいの創出			
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○全国短歌フォーラムの開催 ○短歌館、歌碑公園などの文化施設の活用 ○平出博物館、自然博物館を中心とした博物館施設の再構築 						
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全国短歌フォーラムについては、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めた上での本大会開催の可否。また、投稿歌数の減少への対応策。 ・自然博物館の移転先を含めた今後の方向性及び在り方。 						
		主管課	当年度事業内容					
	全国短歌フォーラム事業	社会教育スポーツ課	本大会は9月25日開催に向けて準備をしていく。例年どおりのNHKへの委託業務を見直し、大会の収録・放映はテレビ松本へ委託し、放映・HPでの配信を行う。					
	自然博物館運営事業	文化財課	小坂田公園再整備計画に合わせ、7月以降は一時閉館し、同定作業に注力する。					
	島木赤彦寓居移築整備事業	文化財課	国登録有形文化財である「島木赤彦寓居：通称 牛屋」を塩尻短歌館と広丘児童館の間の松林へ耐震補強工事を行いながら移築する。併せて周辺環境も整備する。					
	平出博物館事業	平出博物館	歴史学習の場として、常設展示のほか企画展示会や土曜サロン、歴史大学といった講演会を開催する。					
新平出博物館整備事業	平出博物館	新しい平出博物館の整備に向けた、基本構想及び基本計画を策定する。						
No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値	
			値 [基準年度]	[R1]	[R3]	[R4]	[R5]	
2	4-2-2 スポーツを通じた交流の促進	スポーツ施設利用者数	434,998人	[R1]			575,000人	
		週1回以上スポーツ活動を行う市民の割合	31.4%	[R2]			40.0%	
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	4 地域資源を生かした交流の推進	施策	4-2 文化・スポーツを通じたにぎわいの創出			
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○各種イベントやスポーツ教室等の実施 ○塩尻市体育協会と連携した市民体育祭等のスポーツ大会の実施 ○拠点スポーツ施設の適正な維持管理と改修 ○スポーツ推進委員、スポーツ普及員による市民の健康体力づくり活動 ○総合体育館の運営、トップアスリート等との交流イベントの開催 						
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を踏まえた、関係団体との連携によるスポーツ活動の活性化への取り組み。 ・総合体育館のオープニングイベントの実施。 						
		主管課	当年度事業内容					
	スポーツ活動支援事業	社会教育スポーツ課	全国大会等への出場激励金の交付及び各種スポーツ大会への補助を行うことにより、市民がスポーツに取り組むための支援を行う。					
	競技力向上事業	社会教育スポーツ課	塩尻市体育協会及びスポーツ推進委員・普及員と連携し、市民が身近にスポーツを感じていただけるような市民体育祭やスポーツ教室等を実施していく。					
	総合体育館運営事業	社会教育スポーツ課	開館する総合体育館を市民スポーツの拠点施設として運営し、トップアスリートとの交流事業や子どもの運動習慣事業を実施する。					

事業部ミッション5

高齢者をはじめ、自発的に活動する意欲を持った市民に対して、生涯を通じた学び合いの場や文化芸術に触れる機会を提供することで、市民一人ひとりの豊かな生活の創造と地域活動の活性化を促進する。

No.	主な取り組み		指標	現状値		進捗		目標値
				値	[基準年度]	[R3]	[R4]	[R5]
1	7-2-1 生涯学習活動の推進		公民館の来館者数	210,356人	[R1]			220,000人
			図書館や公民館などの利用環境が整っていると感じる市民の割合	70.8%	[R2]			74.0%
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	7 生涯現役で社会貢献できる仕組みの構築	施策	7-2 生涯を通じた学びと知識や経験の継承			
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○塩尻ロマン大学の開講による高齢者の学びの場の提供 ○身近な名所、旧跡、文化財等を紹介する学習機会の提供、生涯学習相談窓口の設置 ○総合文化センターの施設設備の改修 ○公民館における地域課題解決型学習の推進 ○公民館分館の改修に対する補助 						
	当面の課題	・総合文化センターの長期的な改修計画及び修繕費の確保。(公共施設マネジメント課との連携)						
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容					
	生涯学習支援事業	社会教育スポーツ課	引き続き、ロマン大学を開催し、高齢者の仲間づくり、社会参加の場と機会の提供をしていく。					
	総合文化センター管理事業	社会教育スポーツ課	生涯学習の拠点となる総合文化センターを、利用者が安心・安全に利用できるよう施設管理を実施する。					
	公民館分館施設整備事業	社会教育スポーツ課	生涯学習の拠点となる地区公民館の新設・改修工事等に補助金を支出し、地元負担の軽減と施設の整備を促進する。					
	公民館事業	社会教育スポーツ課	市民の生涯学習を推進するとともに、地域の連携を深めるために、公民館の運営、各種講座及び講演会等を開催していく。					
2	7-2-2 文化芸術活動の支援		文化会館利用者数	97,772人	[R1]			112,000人
			音楽や文学、芸術活動に触れたり参加したりする機会に恵まれていると感じる市民の割合	33.6%	[R2]			43.0%
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	7 生涯現役で社会貢献できる仕組みの構築	施策	7-2 生涯を通じた学びと知識や経験の継承			
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○市民ニーズに合った芸術文化事業の企画、実施 ○市民の自主的で創造的な文化芸術活動の支援 ○文化会館の効果的な運営 ○文化会館の年次的な設備改修 						
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体の弱小化。(高齢化・活動の衰退) ・長期にわたる営繕修繕に高額な費用がかかる。 						
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容					
	芸術文化事業	社会教育スポーツ課	市民芸術文化事業及び研修事業を実施すると共に、芸術文化活動者への支援、育成のための補助金を交付する。					
	文化会館運営事業	社会教育スポーツ課	文化会館の管理運営と芸術文化鑑賞事業の実施を指定管理者に委託する。					
	文化会館改修事業	社会教育スポーツ課	長期改修計画に基づき、利用者が安心・安全に文化会館を利用いただけるよう、施設及び設備の維持・修繕を行う。					

事業部ミッション6

市民交流センター機能を中心に、知恵と意欲を持つ人材や団体の活発な活動・交流を促進するとともに、時代の潮流に応じた情報の集積拠点として、多様な資源とネットワークを活用し、確かな情報提供と課題解決の支援をすることで、新たな知恵と価値が創出される場を提供する。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値	
			値	[基準年度]	[R3]	[R4]	[R5]	
1	10-2-1 市民活動の支援と人の交流の促進	まちづくりチャレンジ事業を実施し、自立運営している団体数	29団体	[R1]			40団体	
		市民交流センター貸館利用率	75.9%	[R1]			80.0%	
		市民が中心となったまちづくり活動が活発に行われていると感じる市民の割合	28.2%	[R2]			36.0%	
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	1 子どもを産み育てる環境の整備	施策	10-2 知恵の交流を通じた人づくりの場の提供			
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○市民公益活動団体等の事業運営及び自立支援 ○まちづくりチャレンジ事業補助金の交付 ○中間支援機関の充実、協働事業の推進 ○五つの重点分野「図書館、子育て支援・青少年交流、シニア活動支援、ビジネス支援、市民活動支援」を生かした交流事業の展開 						
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と市民が対等なパートナーシップによって公共を担う協働のまちづくりを推進するため、社会問題や地域課題を解決する協働の担い手の更なる育成、支援が必要である。 ・開館11年目となり、機械設備の不具合等が発生しているため、計画的な維持管理が必要である。 						
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容					
	協働のまちづくり推進事業	市民交流センター	中間支援組織との連携による講演会・研修会、まちづくりフェスティバルの開催、まちづくりチャレンジ事業実施団体への補助金交付及び市民大学プラットフォームを活かした市民講座などの協働につながる事業を展開する。					
	市民交流センター交流企画事業	市民交流センター	五つの重点分野「図書館、子育て支援・青少年交流、シニア活動支援、ビジネス支援、市民活動支援」を基本に、機能融合を意識した事業を展開するため、こどもしおじり、えんぱーく科学館、IT講座、シニア講座などの交流事業を企画・運営する。					
	市民交流センター管理諸経費	市民交流センター	市民交流センターの長寿命化を図るための計画的な修繕等として、屋上の塗装防水トップコート塗替工事、改正フロン法の3年に1度の点検修理等を実施する。					
2	10-2-2 確かな情報による課題解決の応援	レファレンス受付件数	2,314件	[R1]			2,500件	
		図書館の市民1人当たり貸出冊数	10.0冊	[R1]			10.0冊	
	全市戦略における位置付け	プロジェクト	10 地域課題を自ら解決できる「人」と「場」の基盤づくり	施策	10-2 知恵の交流を通じた人づくりの場の提供			
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○市民の生活を支援する課題解決型図書館の運営 ○0歳児、3歳児への本のプレゼント(ブックスタート、セカンドブック) ○本の可能性を考えるイベントの開催、本を仲立ちとした書店、出版社、市民との連携事業展開 ○PTA親子文庫補助、市民読書活動グループによる子どもの読書活動推進 ○読み聞かせボランティアの育成、障がい者等に対応した対面朗読サービスやバリアフリー資料の充実 ○他自治体の図書館との連携による交流事業の展開 						
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本の寺子屋の充実を図るとともに「進化する図書館」を目指した新たなサービス展開により、全国的な注目を集めるなどブランド力を高めている。引き続き市民の信頼度を高めて利用拡大につなげ、地域の課題解決に向けた確かな情報発信と市民交流を促進することが求められている。 ・市民の読書に対する意識を高め、子どもたちの読書活動の推進を図る必要がある。 ・電子資料の利活用、地域資料のデジタル化、イベントや会議のオンライン化など、外部からも情報取得が可能なハイブリッド図書館に向けた研究と取組を進める必要がある。 						
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容					
	図書館事業諸経費	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料の充実と図書館員のレファレンス能力の向上により課題解決型図書館としての機能を高め、多様な企画による図書館サービスの提供を行う。 ・開館50周年にあたってイベント開催やグッズ販売などの記念事業を展開し、利用拡大を図る。 ・動画制作・配信やオンライン講座など新たな情報発信やイベント開催を行うとともに、図書館同盟館や外部機関との連携を進める。 					
	市民読書活動推進事業	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA親子文庫及び市民読書活動グループとの連携、学校巡回読書イベントの開催、絵本プレゼントなどにより、子どもの読書推進を図るとともに読書活動ボランティアの活躍の場を広げる。 					
	本の寺子屋推進事業	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・本の寺子屋10周年にあたり、記念講演会や記念出版を実施して事業のブランド力をさらに高め、本の魅力や読書の楽しみについて情報発信を強化し、図書館の利用拡大と読書活動の推進を図る。 					
	古田晃記念館諸経費	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・古田晃記念館の運営と所蔵資料の活用に向けた取組を進める。 ・記念館管理棟の耐震診断を実施し、今後の施設改修・管理の方針を定める。 					
図書館サービス基盤整備事業	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館サービスの基盤となる図書資料の収集・活用を図るとともに、デジタル情報資源の利用促進や地域資料のデジタルアーカイブ化などにより、多様な情報サービスができるよう機能強化を図る。 ・図書館システムの更新・機能強化により、利用者の利便性向上と業務の効率化を図る。 						

こども教育部 事務事業一覧

事業部ミッション1

安心して子どもを産み育てることができる環境を充実するため、妊娠、出産から子育てまで切れ目のない支援体制の一層の充実を図るとともに、子育ての負担軽減や家庭教育の支援、仕事と育児の両立支援などを推進する。
また、相談体制を拡充するとともに、子どもの貧困を防ぐための包括的な支援を行い、子育て支援の充実を図る。

No.	主な取り組み	対応する事務事業(○自己点検評価対象事業)			
		No.	事業名	担当	評価
1	保健と医療の充実	①	医学生奨学金制度創設事業	教育総務課	
2	地域の子育て力の強化	①	子育て支援センター事業	こども課	
		②	ファミリーサポートセンター事業	こども課	
		③	こども広場事業	こども課	○
3	幼児教育・保育環境の充実	①	保育所運営費	こども課	
		②	給食運営費	こども課	
		③	育児支援推進事業	こども課	○
		④	民間保育所支援事業	こども課	
		⑤	保育補助員設置事業	こども課	
		⑥	にぎやか家庭応援事業(保育料減免分)	こども課	
		⑦	私立幼稚園支援補助費	こども課	
		⑧	保育園大規模修繕事業	こども課	
4	放課後児童の居場所づくりの推進	①	児童館・児童クラブ運営費	教育総務課	
		②	放課後キッズクラブ運営費	教育総務課	
		③	塩尻児童館建設事業	教育総務課	
5	子ども一人ひとりの成長の支援	①	元気っ子応援事業	家庭支援課	
6	個々の事情を持つ家庭への支援	①	家庭支援推進事業	家庭支援課	
		②	こどもの未来応援事業	家庭支援課	
		③	児童福祉施設費	家庭支援課	
		④	ひとり親家庭福祉推進事業	家庭支援課	
		⑤	児童扶養手当支給事業	家庭支援課	

事業部ミッション2

すべての子どもたちが、「社会を生き抜く力」を備え、郷土を知り、誇りと愛着をもって成長できることを目指し、「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」を、家庭、学校、地域、行政が連携して推進する。
また、GIGAスクール構想の実現に向けた取り組みなど、時代の変化に対応した能力と学力の向上を図る。

1	時代の変化に対応した学力の向上	①	教育センター情報教育推進費	教育総務課	
		②	小中学校情報教育推進費	教育総務課	
		③	小中学校新学習指導要領対応事業	教育総務課	
		④	小中学校GIGAスクール推進事業	教育総務課	○
		⑤	小学校英語活動サポート事業	教育総務課	
2	健やかな成長の支援	①	小中学校給食運営事業諸経費	教育総務課	
		②	こどもの未来応援事業	家庭支援課	○
3	社会や地域に親しむ心の育成	①	こども未来塾等運営事業	教育総務課	
		②	地域連携教育推進事業	教育総務課	○
		③	小中学校特色ある教育活動事業	教育総務課	
4	教育のセーフティネットの充実	①	教育相談研究事業	教育総務課	
		②	小中学校教育振興諸経費	教育総務課	
		③	まなびサポート事業	家庭支援課	
5	地域特性に応じた学校環境の充実	①	小中学校補助交付金	教育総務課	
		②	小中学校安全支援事業	教育総務課	
		③	義務教育学校整備事業	教育総務課	
		④	小中学校仮設校舎整備事業	教育総務課	
		⑤	小中学校長寿命化改良事業	教育総務課	
		⑥	小学校防災機能強化事業	教育総務課	
		⑦	中学校大規模改修事業	教育総務課	
6	教育の経済的負担の軽減	①	小中学校教育振興扶助費	教育総務課	
		②	高等学校等振興事業	教育総務課	
		③	奨学資金貸与事業特別会計繰出金	教育総務課	

令和3年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名		子ども広場事業		担当課	子ども課
目的	対象	0歳から6歳(未就学)児とその保護者		施策体系	1-1-2
	意図	親子が触れ合いながら自由に遊び、交流する場の提供		新規/継続	継続
手段		・楽し遊べ、安全な施設としての維持管理 ・子育て関連の講座の開催 ・木とふれあい、親しむ木育の推進		会計区分	一般
年度別事業内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		○施設の維持管理 ○子育て支援に関する講座等の開催 ○木育玩具等の買出 ○木育フェスティバルの参加	○施設の維持管理 ○子育て支援に関する講座等の開催 ○木育玩具等の買出 ○木育フェスティバルの参加	○施設の維持管理 ○子育て支援に関する講座等の開催 ○木育玩具等の買出 ○木育フェスティバルの参加	
事業費・財源		計画額 (千円)	計画額 (千円)	計画額 (千円)	予算対応
		46,581			
		会計年度任用職員報酬等 17,035			
		駐車場使用料 1,226			
		施設管理負担金 26,868			
		その他 1,452			
人件費		特定 7,088	一般 39,493	特定 一般	一般
正規		業務量 0.01人	人件費 65	業務量 0	人件費 0
会計年度等		業務量 5.23人	人件費 15,863	業務量 0	人件費 0
合計		人件費合計 15,927	人件費合計 0	人件費合計 0	0

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	新型コロナウイルス感染症の予防対策を図りながら、広場の運営をした。感染症拡大の影響で、5月から8月までの間で16の講座が中止となった。
当年度生じた新たな問題等	引き続き新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を図りながら、館の運営、講座の開催を行っていく必要がある。年間の利用者数は、H27年度の60,102人を境に年々減少傾向で、コロナ禍以前のH30年度は、50,809人であり、運営について見直す必要がある。(年間利用者数: R元年度43,900人、R2年度24,503人)
新年度の予算要求事項(改善・改革案)	定期的な遊具点検の結果、大型遊具や木製玩具等のメンテナンスを行う必要がある。

○評価指標

評価指標(単位)		子ども広場利用者数(人)				
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値(事中評価)			13,707			
実績値(事後評価)						
目標値			43,000	44,000	45,000	
評価指標(単位)						
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値(事中評価)						
実績値(事後評価)						
目標値						

○事中評価

妥当性	2	やや低い	今後の方向性	⑤	
有効性	2	やや低い			
効率性	2	やや低い	成果	現状維持	
総合評価	C			コスト	現状維持

【参考】令和2年度 事後評価

取組内容	・4月から5月の閉館後、新型コロナウイルス感染症予防対策を図りながら、未就学児の親子が、安心して遊べる屋内公園型施設として運営や、親子で楽しめるイベントや講座を行った。 ・木育活動推進のため、保育園等に木育玩具の貸し出しを行った。
成果	・休館の影響で、昨年度より来館者数は減少したが、天候にかかわらず、親子で遊べる広い施設として、市内外から多くの利用があった。
課題	・引き続き新型コロナウイルス感染症の感染予防を図りながら、運営していく必要がある。 ・開館して10年が経過するため、今後、大型遊具や木製玩具の計画的な修繕が必要となる。

第1次評価									
第2次評価									

作成担当者	子ども教育部	子育て支援センター	職名	係長	氏名	長岡 春美	連絡先(内線)	4122
最終評価者	子ども課長	子育て支援センター	氏名	担当係長	氏名	長岡 春美		

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>天候に関わらず子どもが遊べる場は必要であり、コロナ禍の難しい運営に対して感謝したい。利用者の動向を把握しつつ、感染症以降での制約や生活の多様化を踏まえた利用者数の目標設定をし、家庭側の意向を反映した質の充実を目指してもらいたい。また、遊具の点検・メンテナンスは優先度を上げて、事故やトラブル等を未然に防ぐための対応を進め、今後も安全で楽しい場であることを期待する。木育フェスティバルは家庭の遊びでは体験できない大変良いイベントだと思うので、今後も継続して参加して頂きたい。子育て講座において、虐待としつけの区別のつけ方などにおいて、実践的なロールプレイなどを含んだ講座も期待したい。</p>
--------------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中にあっても、未就学の子どもたちと保護者のために交流する機会の提供を止めることなく続けていることを高く評価いたします。 ・こども広場事業は、子育て・子育て支援において重要な事業の一つと考えられる。新型コロナウイルス感染症による講座開講等の制限があるなかで、親子にとって魅力的な場としてあるためにできることを引き続き考えていただきたい。 ・問題点の運営の見直しについては、年々利用対象者の変化やニーズを探ることは必要であり、継続的な改善の見直しの方法は評価できる。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・こども広場の年間利用者の推移については、平成 27 年後以降の横這いから平成 30 年後には大きい減少傾向にあるものの、資料コメントにも記載の様にその減少は出生者数の減少が大きな要因だと確かに考えられます。そうであれば、利用者数の減少は避けられるものではないため、その数には惑わされる必要はありません。利用者数に振り回されることなく、今後も確かなニーズのある魅力的なイベントや講座の積極的な開催を期待します。 ・利用者が漸減している要因やニーズの変化をしっかりと捉えていただき、今後の事業展開のエビデンスとしていただきたい。 ・ある程度の運営が利用者仲間で自主的にできるように仕向けることが出来ないものかと思う。（既にあるのであれば、より進化させる方策も必要である）
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を考えると、評価指標としてこども広場利用者数が適切であるのか検討する余地もあると思われる。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の点検は毎年度の定期点検に加えて、職員による日常の点検も併せて行い、安全安心な環境を保持していきたい。 ・利用者数の減少の要因について、他市町村の類似施設の利用者数の増減と比較・検証するなど、さらに細かく分析していきたい。 ・利用者のニーズの把握を定期的に行い、講座、遊具、開館時間等の見直しを進め、子育て世帯にとって魅力ある施設となるよう取組みを継続したい。 ・利用者の自主的な活動を支援する取組みについて、こども広場内の部屋を子育てサークルを対象に無料で貸出をしているが、さらに、ボランティア団体の活動の支援方法など検討していきたい。
------------------	---

令和3年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	育児支援推進事業		担当課	こども課
目的	対象	就園児及び未就園児とその保護者	施策体系	1-2-1
	意図	地域との交流を深めることにより、保護者の育児不安の解消に寄与する。	新規/継続	継続
手段	内容	あそびの広場の開催、異年齢児交流事業、高齢者との世代間交流事業等の実施、病児・病後児保育事業の実施	会計区分	一般
	年度別事業内容	令和3年度 ○交流保育の実施 ○病児・病後児保育事業の実施 ○新たな受け皿の確保	令和4年度 ○交流保育の実施 ○病児・病後児保育事業の実施	令和5年度 ○交流保育の実施 ○病児・病後児保育事業の実施
事業費・財源	計画額 (千円)	43,743	計画額 (千円)	予算対応 (千円) 予算対応
	講義謝礼	22	講師謝礼	22 病児保育人件費 7,000
人件費	消耗品費	258	消耗品費	258
	委託料	5,078	病児・病後児保育委託料	1,600
合計	補助金	37,023	病児・病後児保育施設整備補助金	35,111
	その他	1,362	その他	1,362
人件費	特定	24,680	特定	一般
	業務量	0.02人	人件費	業務量
合計	業務量	0.00人	人件費	業務量
	人件費合計	130	人件費合計	0

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったあそびの広場は、新しい形での開催を模索し、2回の園庭開放を行った。 病児保育事業について事業の継続を図る中で、「広域連携」に向けて調整を進めている。
当年度生じた新たな問題等	あそびの広場では、開催回数、参加人数が減少したことで、利用者と地域との交流が激減し、入園前保護者及び子どもの不安解消へつながっていない。 病児保育について、1人枠に利用希望者の重複があり、利用を断られるケースがたびたび発生している。 R3年度実施予定であった病児・病後児保育施設整備計画が中止となった。 病児保育の広域連携に当たり、松本市から施設整備に係る負担金を求められている。
新年度の予算要求事項(改善・改革案)	現在のまとも医療センターとの委託契約を解消し、病児保育の広域連携への協議を進めているが、施設整備に係る負担金、当該事業に係る予算等が必要となる。

○評価指標

評価指標(単位)	あそびの広場登録組数(組)				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値(事中評価)		78			
実績値(事後評価)	0				
目標値		250	250	250	250
評価指標(単位)	病児・病後児保育の利用人数(人)				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値(事中評価)		4			
実績値(事後評価)					
目標値		10	20	50	

○事中評価

評価視点	妥当性	2	やや低い	今後の方向性	①
	有効性	2	やや低い		
	効率性	2	やや低い		
総合評価		C			成果
					コスト
					拡大

【参考】令和2年度 事後評価

取組内容	あそびの広場は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業中止とした。 病児保育事業は、まともと医療センターと新たに契約を締結し、事業を継続した。
成果	病児保育事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、利用者数は減少した。
課題	あそびの広場を新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を行いながら実施する必要がある。 病児保育について、今後の利用状況を踏まえ、受入枠の拡大について、受託者及び近隣自治体との協議を検討していく必要がある。

第1次評価

第2次評価

作成担当者	こども教育部	こども課	保園運営係	保園運営係	氏名	百瀬 英之	連絡先(内線)	3172
最終評価者	こども課長	竹中 康成	担当係長	主査	氏名	小松 恵理子		

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>病児保育については、共働きの核家族家庭が増えている現状において利用を断られると保護者は大変困ると思われるので、必要な時に確実に使うことができる様な仕組みを整えてもらいたい。コロナ禍で、相談件数や虐待件数が増加している中、塩尻市において深刻なニュースを聞かないのは、良い支援ができていると捉えられ、職員の連携などは評価できるのではないかと。今後は、第6波が懸念されているが、複雑な背景に対応できるよう条件等の整備を望みたい。</p>
--------------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・塩尻市民の育児不安の解消に寄与するために、急務とも言える広域連携及び塩尻市内での病児・病後児保育事業の推進を高く評価いたします。 ・「子育てしたくなるまち日本一」を掲げるなかで、事業の一つである病児保育は、保護者の子育てにおける不安を軽減・解消するための重要な社会資源であり、市内においても実施を目指していく必要がある。財源や医療機関との連携等課題もあると思うが、市内での病児保育事業の確保を期待する。 ・困難な状況下で工夫している点は評価できるが、実施内容の質を高めることも重要。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育の利用者は、令和元年度から令和2年度にかけて激減しているものの、利用希望者は決して少なくなく、仮に少数であっても育児不安の解消にあっては不可欠な事業であることは間違いありません。 日の出保育園の増築に合わせて、市内に病児・病後児保育施設を設けるのはやや先になるとのことでしたので、施設の開設に先行してでも病児・病後児保育の利用希望者に向けて（塩尻市民の保護者に向けて）、市内に病児・病後児保育施設を開設予定ということだけでもすぐに伝えてほしいと思います。そのお知らせは、身近な場所に対応できるという“安心感”に繋がり、その様な安心感こそが育児不安を和らげると思うからです。 ・不安解消するためにも、積極的な利用者ニーズの把握に努める。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育については、複合施設での建設は賛成ですが、広域連携も視野に建設場所も含めて、よく検討してもらいたい。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の病児保育の利用者枠の拡充については、引き続き松本市等と協議を進め、令和4年度からの改善を目指していく。 ・日の出保育園における病後児保育事業の開始については、適時適切な情報の提供に努め、保護者の安心感につなげるとともに、利用者ニーズの把握についても検討していきたい。 ・建設場所については、将来の広域連携を視野に利便性、効率性等の検証が必要と認識している。ただし、建設に適した用地の確保は困難なことから、現時点では、日の出保育園隣接の用地が適当と考えているが、利用者ニーズの把握も検討していきたい。
------------------	---

令和3年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	GIGAスクール推進事業(小中学校)		担当課	教育総務課	
目的	対象	小学生・中学生、教職員	施策体系	2-2-2	
	意図	多様な子どもたち一人ひとりに、個別最適化され、質・量が二層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。	新規/継続	新規	
手段	1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、その環境を効果的に活用できるコンテンツ等を導入する。	令和3年度	会計区分	一般	
	年度別事業内容	令和4年度 令和5年度			
事業費・財源	○ICT支援員配置 ○モバイルルーターの活用 ○学習支援コンテンツの提供	○ICT支援員配置 ○モバイルルーターの活用 ○学習支援コンテンツの提供	計画額 (千円)	予算対応 (千円)	予算対応
			17,759		
	ICT支援事業委託料		11,777		
	モバイルルーター通信費		998		
	学習支援コンテンツ利用料		4,211		
授業目的公衆送信補償金		773			
人件費	特定 0	一般 17,759	特定	一般	
正規	業務量 0.23人	人件費 1,491	業務量 0	人件費	0
会計年度等	業務量 0.00人	人件費 0	業務量 0	人件費	0
合計	人件費合計	1,491	人件費合計	人件費合計	0

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	ICT支援事業については、ICTの活用に意欲的な学校や先生を中心に活用が進んでいる一方で、活用が進まない学校や先生が一定数いる。活用事例を全校に周知し、活用が進まない学校や先生に対してサポートを充実させる必要がある。 モバイルルーターの活用では、数校で家庭学習におけるタブレット端末の利用を始めており、それに伴い、インターネット環境が整わない家庭に対してルーターの貸し出しを行っている。貸し出し期限を設け、インターネット環境の整備を促していく必要がある。 ICT支援員が週1,2回学校に常駐することで、ICTを活用した授業支援が進み、教育総務課でも全校の進捗状況を把握することができる。一方で学校による活用のばらつきがあるため、来年度以降も同規模の支援が必要である。 令和2年度の校内情報通信ネットワーク整備や1人1台端末の整備が完了したことから、新年度予算編成では、このGIGAスクール推進事業を、これまでの(教育センター・小中学校)情報教育推進費に統合し、一体的に管理していく必要がある。 学習支援コンテンツ利用料(スタディサプリ)の今後の運用については、DX推進事業で提案する。
当年度生じた新たな問題等	
新年度の予算要求事項(改善・改革案)	

第1次評価

第2次評価

作成担当者	こども教育部	教育総務課	学校支援係	職名	主任	氏名	田中 文和
最終評価者				職名	担当係長	氏名	武井 充
				氏名	二木 義文	連絡先(内線)	3113

○評価指標

評価指標(単位)	ICT支援員配置校数(校)				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値(事中評価)		14			
実績値(事後評価)					
目標値		14	14	14	
評価指標(単位)					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値(事中評価)					
実績値(事後評価)					
目標値					

○事中評価

評価視点	妥当性	4	高い	今後の方向性	⑤	
	有効性	4	高い			
	効率性	3	やや高い			成果
総合評価		A			コスト	現状維持

【参考】令和2年度 事後評価

取組内容	—
成果	—
課題	—

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>学校現場での温度差は、デジタルスキル以外にもICT教育の必要性和目的の理解度に起因するのではと感じている。スキルや理解度の差により、クラス間で差がでないようなサポートを望みたい。</p> <p>今後、時代の変化に応じた学び方をすべての子どもに身につけさせていくためには、現場で指導する先生方のICTを活用した実践が重要になってくる。指導法研究の指導支援や実態に応じたサポート等に期待するとともに、塩尻市としての方向性を明確にして、学校・家庭と連携して運営側の意識統一を図ってほしい。</p>
--------------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育には、端末の配備だけでなくネットワーク整備がセットとして不可欠です。1人1台端末の配備を終え、校内のネットワーク整備を進め、更には家庭間格差が生じない様にモバイルルーターの無償貸与・通信費無償や不慮の破損への無償対応など家庭のネットワーク負担の軽減にも配慮していることは今後も益々推進していただきたいと思ひます。特に、モバイルルーターの無償貸与・通信費無償や不慮の破損への無償対応という点は私が知る限り他市には見られない対応であり、その点は塩尻市独自のGIGAスクール推進事業として高く評価いたします。 ・一人一台の端末の整備等、ICT環境の充実を図るとともに、その環境の適切な活用の在り方や生徒への教育効果がどのように現れていくのかを検証していく必要があると思われる。 ・インターネット環境が整備され、教育の均衡が図られることは良いことですが、学校間で格差があることは問題である。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の修学利用事例を周知することのほかに、ICT機器の活用が十二分ではない学校や先生方の利活用しない事由も丁寧に掬い取ってほしいと思ひます。ICT機器を活用しにくい教科科目もあるでしょうし、先生個人の授業方針等も関係しているかもしれません。ICT機器の利用は義務とはせず、あくまでも推奨が適切かと思ひます。ただ機器が活きるかどうかはその使い次第のため、学習効果の高い良い活用事例は積極的に全校に紹介していくと良いかと思ひます。 ・ICT支援員による支援がどのように、どの程度行われているのか、また支援を行っていくうえでの課題についても見ていく必要があると思われる。 ・ハード面の整備とともに、ソフト面の充実がより重要になる。
その他意見	<p>各家庭におけるインターネット環境が異なるため、そちらにも目を向けてほしい。</p>

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・塩尻市DX戦略に基づく「学校DX戦略」を策定し、「目指す将来像」に向けて、策定したスケジュールに沿って取組みを推進する。 ・学習用コンテンツ「スタディサプリ」の対象学年の拡大（中学1年生～3年生）や、「学校と保護者等の連絡システム」の導入により、生徒が主体的な学びにつなげるとともに、教職員の業務改善を図る。 ・ICT支援員の配置を継続し、児童生徒、教職員を支援することで、ICT機器の効果的な活用を図るとともに、効果的な活用について、情報教育推進委員会等において学校間の情報共有を図る。
------------------	---

令和3年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	こどもの未来応援事業		担当課	家庭支援課
目的	対象	生活保護・就学援助受給家庭、ひとり親等の生活困窮家庭を中心としたすべての子ども	施策体系	1-3-2
	意図	子どもの学習意欲の向上を図ることで学力向上を図る。 すべての子どもが安心して学習でき、及びその結果の機会が保証され、子ども一人ひとりが夢や希望を持つことができるようにする。	新規/継続	継続
手段	内容	・実態調査・資源量の把握、支援体制の整備計画策定 ・多様な複合的な課題を抱える家庭のケースワーク ・学習支援、生活習慣・社会性の習得支援、親への養育支援を行う。	会計区分	一般
	年度別事業内容	令和3年度 ○実態調査・資源量の把握、支援体制の整備計画策定 ○子ども・貧困家庭ケースワーク ○生活困窮・ひとり親家庭に対する学習支援事業 ○子ども・居場所づくり推進 ○こどもの未来応援協議会の開催	令和4年度 ○子ども・貧困家庭ケースワーク ○ひとり親・生活困窮家庭に対する学習支援事業 ○子ども・居場所づくり推進 ○こどもの未来応援協議会の開催	令和5年度 ○子ども・貧困家庭ケースワーク ○ひとり親・生活困窮家庭に対する学習支援事業 ○子ども・居場所づくり推進 ○こどもの未来応援協議会の開催
事業費・財源	計画額 (千円)	9,854	計画額 (千円)	予算対応 (千円)
	子ども・若者応援協議会委員報酬等 学習支援員謝礼等 子ども・居場所づくり事業補助金 その他	4,000 2,389 1,417 810 1,238	子ども・貧困対策推進計画等作成委託料 子ども・若者応援協議会委員報酬等 学習支援員謝礼等 子ども・居場所づくり事業補助金 その他	予算対応
人件費	特定	4,671	特定	一般
	業務量	1.43人	業務量	人件費
合計	人件費	9,271	人件費	人件費
	業務量	0.37人	業務量	業務量
合計	人件費合計	10,393	人件費合計	人件費合計

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	子どもの貧困対策推進計画の策定に際し、市内における子ども世代の子ども並びにその保護者並びに児童扶養手当受給世帯の保護者などに対し、生活実態調査を実施した。 子ども・貧困に依る専門性の高い支援を実現するため、子ども・貧困対策のWを1名配置し、養育環境の厳しい家庭へのケースワークを専任している。また、学習支援を通じた生活習慣の改善、社会性獲得等を目的とした「子ども・貧困対策のW」を子ども・貧困対策のWを中心として開始し、家庭、学校等との連携を図りながらの支援を実施している。 学校や家庭以外の子ども・居場所の拡大を応援するため、市内で学習支援や食事の提供を行う団体等に対する補助制度である「子ども・居場所づくり事業補助金」を創設し、活動団体の運営の支援を行っている。
当年度生じた新たな問題等	子ども・貧困対策推進計画の策定に際し、市内における子ども世代の子ども並びにその保護者並びに児童扶養手当受給世帯の保護者などに対し、生活実態調査を実施した。 子ども・貧困に依る専門性の高い支援を実現するため、子ども・貧困対策のWを1名配置し、養育環境の厳しい家庭へのケースワークを専任している。また、学習支援を通じた生活習慣の改善、社会性獲得等を目的とした「子ども・貧困対策のW」を子ども・貧困対策のWを中心として開始し、家庭、学校等との連携を図りながらの支援を実施している。 学校や家庭以外の子ども・居場所の拡大を応援するため、市内で学習支援や食事の提供を行う団体等に対する補助制度である「子ども・居場所づくり事業補助金」を創設し、活動団体の運営の支援を行っている。
新年度の予算要求事項(改善・改革案)	子ども・貧困対策推進計画の策定に際し、市内における子ども世代の子ども並びにその保護者並びに児童扶養手当受給世帯の保護者などに対し、生活実態調査を実施した。 子ども・貧困に依る専門性の高い支援を実現するため、子ども・貧困対策のWを1名配置し、養育環境の厳しい家庭へのケースワークを専任している。また、学習支援を通じた生活習慣の改善、社会性獲得等を目的とした「子ども・貧困対策のW」を子ども・貧困対策のWを中心として開始し、家庭、学校等との連携を図りながらの支援を実施している。 学校や家庭以外の子ども・居場所の拡大を応援するため、市内で学習支援や食事の提供を行う団体等に対する補助制度である「子ども・居場所づくり事業補助金」を創設し、活動団体の運営の支援を行っている。

○評価指標

評価指標(単位)	学習支援実施回数(回)				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値(事中評価)		8			
実績値(事後評価)	-				
目標値		300	350	400	
評価指標(単位)	居場所づくり事業実施回数(回)				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値(事中評価)		22			
実績値(事後評価)	-				
目標値		100	110	120	

○事中評価

評価視点	妥当性	3	やや高い	今後の方向性	④
	有効性	3	やや高い		
	効率性	2	やや低い		
総合評価		B		成果	拡充
				コスト	縮小

【参考】令和2年度 事後評価

取組内容	子どもの貧困対策を根底に、市内関係者が横断的に事業を検討する「子どもの未来応援協議会」を開催した。 地域の団体で構成する「子どもの未来応援協議会」を開催し、各団体の見交換等を行った。 「子どもの未来応援協議会」を開催し、「子ども食堂」が必要とされる現代社会を子どもの視点から描いた作品「こどもよくどうぞ、一般市民、や子どもの支援に携わる者等向け」に上映した。
成果	子どもの未来応援協議会では、子どもの貧困対策に係る業務の棚卸しとともに、組織の見直し案等を中心に検討を行った。 子どもの未来応援協議会では、コロナ禍での子ども・家庭の現状、課題を共有した上で、各団体等がその中でも工夫し実施している取り組みについて共有することが出来た。 映画上映会では、多くの参加があり、子どもたちが直面している社会の課題を知り、それぞれの立場でできること、地域での子ども・居場所の役割について考える機会となった。
課題	コロナ禍において、緊急度を増している「子ども・貧困対策」について、ニーズ調査を行いながら、指針となる計画の策定と合わせ、子ども、家庭へのきめ細かなアウトリーチ型の支援が必要である。

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の考え方の多様化が一層進んでいたり等、支援が難しい場面が増えているものと思う。切れ目のない支援に向けて、さらなる専門性や人的確保等も視野に入れていく必要があるのではないかと考える。コロナ禍では、支援を必要としている家庭が増えていると思われるが、そのような家庭を把握し、支援につなげることも期待したい。生活の安定と継続的な支援には、家庭だけでなく職場環境や社会インフラ等を充実させていく必要がある。街全体での次世代育成を考え、幅広いサポート体制を作っていくいきたい。
-------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・困難さを抱えてしまっている子どもたちを支援しようと動いている市民団体(学習支援やこども食堂を運営する市民団体)への補助金制度「子どもの居場所づくり事業補助金」を整備されていることを高く評価いたします。その様な市民団体の経済負担が大きいと、運営自体が難しくなってしまいます。非営利の市民団体を支援することは、結局のところ困窮している子どもたちを応援していることだと言えます。 ・事業の対象は子どもであるが、子どもの支援においては当然ながら保護者の支援も必要であるが、本事業はそうした視点をもって展開されていると思われる。引き続き、一人の子どもも取り残さないよう事業の充実を図っていただきたい。 ・貧困問題を庁内関係課組織で検討していることは評価できるが、実効性が問われる。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・養育状況の困難さを解消しないと、子どもの貧困率は減りません。子どもの貧困対策CWを配置し、家庭及び学校との連携を図りながら、課題の解決を模索しているとのことですが、この課題は高度な専門性と経験、スキルが必要のため貧困対策専任の増員を検討してみたいはいかがでしょうか。 ・学習・生活支援員によるケース対応等のノウハウを蓄積できるような仕組みを構築していただきたい。 ・できることから順次実行に移し、効果を見極めることが重要である。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・対象年齢の引き上げには、民法改正や行政がどこまで関わるか等から検討を要する。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする子ども・家庭を把握するため、関係機関、学校等とのネットワーク化、情報連携を密にし、支援に繋がる体制づくりに取り組みます。 ・子ども食堂の補助要件が通年開催となっていることから、要件の緩和を検討するほか、子どもの居場所の増加のための支援を行います。 ・子どもの貧困対策ケースワーカーの増員については、支援ニーズ等の検証を行った上で、検討します。 ・学習・生活支援事業については、子どもの貧困対策ケースワーカー（学習支援コーディネータ）が子どもと学習・生活支援員、学校を繋げていることから、そのノウハウを関係者とともに共有、蓄積します。
-----------	--

令和3年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	地域連携教育推進事業		担当課	教育総務課
目的	対象	児童生徒、保護者、地域、学校	施策体系	2-1-3
	意図	学習意欲の向上及び社会的・職業的に自立した人材の育成、児童生徒の知力、体力、創造力、道徳心の向上	新規/継続	継続
手段	年度別事業内容	令和3年度	会計区分	一般
		令和4年度	令和5年度	
事業費・財源	計画額 (千円)	11,414	計画額 (千円)	予算対応
	会計年度等	7,308	計画額 (千円)	予算対応
人件費	特定	0	特定	一般
	業務量	0.43人	業務量	0
合計	人件費	2,788	人件費	人件費
	業務量	0.90人	業務量	0
	人件費	2,730	業務量	0
	人件費	5,517	人件費	人件費合計
	業務量	0	業務量	0
	人件費	0	人件費	0

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	学校支援コーディネーターと教育企画係長との懇談会を設定し、業務の負担感や要望について意見交換を行った。キャリア・パスポートの適切な運用のため、キャリア教育委員会において、その意義や記載内容について確認した。義務教育学校開校準備委員会において、小規模特設校制度の導入時期を決定するとともに、制度導入までの過程を確認した。
当年度生じた新たな問題等	学校支援コーディネーターが中学校区ごとの配置であるため、担当する各学校に対して、行事の重複等により関わり方が浅くなってしまう。
新年度の予算要求事項(改善・改革案)	業務の内容から、学校支援コーディネーターの処遇改善について、継続的に検討していく必要がある。義務教育学校の開校にあたり、教科担当講師(英語)の配置を行う必要がある。

○評価指標

評価指標(単位)	コミュニティ・スクール事業項目数(件)				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値(事後評価)		489			
実績値(事後評価)	489				
目標値		498			
評価指標(単位)					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値(事後評価)					
実績値(事後評価)					
目標値					

○事中評価

評価視点	妥当性	2	やや低い	今後の方向性	
	有効性	2	やや低い		①
	効率性	2	やや低い		拡充
総合評価					
C					
コスト					
拡大					

【参考】令和2年度 事後評価

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育総務課に地域連携コーディネーターを1人、中学校区に1人ずつ学校支援コーディネーターを配置した。 ・キャリア教育委員会を開催し、キャリア・パスポートの活用事例やキャリア教育の実践例を共有した。 ・令和4年4月1日の開校に向けて、義務教育学校開校準備委員会を開催した。また、8つの研究テーマを設定し、それぞれの研究会ごとに会議を開催した。 ・地域上学校が一掃に地域の子どもを育てるという意識が高まり、放課後学習支援や、地域の特色に合わせた中核的な取り組みが生まれてきた。 ・キャリア・パスポートの運用について、各校の実態に合わせた改善点を協議し、今後の運用に反映させた。 ・義務教育学校開校準備委員会において、学校名や制服等について方向性を決定した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援コーディネーターの配置について学校区ごとの実情に合わせた検討するとともに、市民の関心をより高めていくために地域への発信について検討し、コミュニティ・スクールを核とした地域活動等とのつながりを構築していく必要がある。 ・キャリア・パスポートが適切に運用されるよう研究活動を継続する。 ・義務教育学校の設置に向けて、特色ある教育活動の内容や小規模特設校制度の導入等、具体的に決定していく必要がある。
課題	

第1次評価

第2次評価

作成担当者	子ども教育部	教育総務課	教育企画係	氏名	大田 文和	職名	担当係長	主事	連絡先(内線)	3112
最終評価者	教育総務課長			氏名	佐藤 智樹					

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>地域の方の協力がなくては成り立たない支援であるので、学校支援ボランティアなどの取組や活動のPRを各地区で工夫し、地域住民の興味や意識の高まりを引き出したい。</p> <p>義務教育学校開校にあたり、目指す方向やそのよさ等を地域や市内に一層周知していくことが必要と考える。また、義務教育学校で実施する特色ある教育活動の充実に向けて、人的配置が必要であれば考えていただくことを望みます。</p>
--------------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・経年的に学校と地域をつなぐコーディネーター(地域連携コーディネーターや学校支援コーディネーター)を配置していることを高く評価いたします。 ・学校と地域との連携は、児童生徒のみならず、地域にとっても多世代交流や一体感の醸成等意義のあるものと思われる。明らかになった課題等の改善を通して、より良い事業として展開していただきたい。 ・地域連携・学校支援には、人は配置しているが、活動実態がよくわからない。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援コーディネーターの処遇改善という課題がある様子ですが、学校支援コーディネーターは、中学校区に1人の配置ではなく、1校に1人の配置を軸に検討してみたいかがでしょうか。コミュニティスクールのプランも、学校ごとに同一ではありません。各校の特色を十二分に理解されている専任の学校支援コーディネーター(1校に1コーディネーター)を常駐させることで、各校の特色を活かしたコミュニティスクールの実施になると思います。 ・本事業の展開により、事業目的である学習意欲の向上及び社会的・職業的に自立した人材の育成、児童生徒の知力・体力・想像力・道徳心の向上につながっているかを、何らかの形で可視化できると良いと思われる。 ・関係者以外でも活動内容のわかる市民向けの周知方法の工夫が必要である。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携教育が学校（教師）、地域、そして子どもたちにとって過度の負担とならないようチェックしていく必要もあると思われる。 ・小中一貫校は、児童・生徒減少に伴う新しい試みであるので大いに期待したい。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援コーディネーターの処遇改善や配置人数については、引き続き、検討していく。 ・実践集の配布、市ホームページや広報紙への記事掲載、地域における発表会など、コミュニティ・スクール活動の周知に努め、学校支援ボランティアの確保につなげていく。 ・コミュニティ・スクールによる児童生徒の知力・体力・想像力の向上等への影響については、全国学力・学習状況調査や、学校評価アンケート等により把握し、今後の活動に活かしていく。
------------------	--

生涯学習部 事務事業一覧

事業部ミッション1

子育てや教育に関し、悩みや課題を抱える家庭に対して、相談体制を拡充し、多様化する家庭環境にきめ細かに対応した子育て支援の充実を図る。

No.	主な取り組み	対応する事務事業(○自己点検評価対象事業)			
		No.	事業名	担当	評価
1	個々の事情を持つ家庭への支援	①	男女共同参画事業	社会教育スポーツ課	

事業部ミッション2

本市の教育環境や地域資源を活用し、「社会や地域の中での豊かな体験・経験の充実」を目標とした事業を、地域と一体となって推進することにより、子どもたちの知・徳・体の成長を支援する。

1	社会や地域に親しむ心の育成	①	青少年育成事業	社会教育スポーツ課	
		②	青少年健全育成施設運営事業	社会教育スポーツ課	

事業部ミッション3

歴史的資源を次世代へ継承すべき財産として、価値を高めるよう適切かつ持続的に保存するとともに、観光の集客核として活用する。

1	歴史的資源の保存と活用	①	文化財保存活用地域計画策定事業	文化財課	
		②	檜川文化施設運営事業	文化財課	
		③	重伝建整備事業	文化財課	
		④	平出遺跡公園事業	平出博物館	
		⑤	埋蔵文化財保護事業	平出博物館	

事業部ミッション4

本市に根付いてきた文化資源を生かして、市民や来訪者の交流を促進するとともに、総合体育館を中心に世代を超えてスポーツに親しむ機会を提供することで、地域のにぎわいを創出する。

1	文化資源を活用した交流の促進	①	全国短歌フォーラム事業	社会教育スポーツ課	
		②	自然博物館運営事業	文化財課	○
		③	島木赤彦寓居移築整備事業	文化財課	
		④	平出博物館事業	平出博物館	
		⑤	新平出博物館整備事業	平出博物館	
		⑥	ひらいでの里魅力づくり事業	平出博物館	○
2	スポーツを通じた交流の促進	①	スポーツ活動支援事業	社会教育スポーツ課	
		②	競技力向上事業	社会教育スポーツ課	
		③	総合体育館運営事業	社会教育スポーツ課	

事業部ミッション5

高齢者をはじめ、自発的に活動する意欲を持った市民に対して、生涯を通じた学び合いの場や文化芸術に触れる機会を提供することで、市民一人ひとりの豊かな生活の創造と地域活動の活性化を促進する。

1	生涯学習活動の推進	①	生涯学習支援事業	社会教育スポーツ課	
		②	総合文化センター管理事業	社会教育スポーツ課	
		③	公民館分館施設整備事業	社会教育スポーツ課	
		④	公民館事業	社会教育スポーツ課	○
2	文化芸術活動の支援	①	芸術文化事業	社会教育スポーツ課	
		②	文化会館運営事業	社会教育スポーツ課	
		③	文化会館改修事業	社会教育スポーツ課	

事業部ミッション6

市民交流センター機能を中心に、知恵と意欲を持つ人材や団体の活発な活動・交流を促進するとともに、時代の潮流に応じた情報の集積拠点として、多様な資源とネットワークを活用し、確かな情報提供と課題解決の支援をすることで、新たな知恵と価値が創出される場を提供する。

1	市民活動の支援と人の交流の促進	①	協働のまちづくり推進事業	市民交流センター	
		②	市民交流センター交流企画事業	市民交流センター	○
		③	市民交流センター管理諸経費	市民交流センター	
2	確かな情報による課題解決の支援	①	図書館事業諸経費	図書館	
		②	市民読書活動推進事業	図書館	
		③	本の寺子屋推進事業	図書館	
		④	古田晁記念館諸経費	図書館	
		⑤	図書館サービス基盤整備事業	図書館	○

令和3年度 事務事業評価シート（ソフト事業）

○実施計画

事務事業名	自然博物館運営事業		担当課	文化財課		
目的	対象	市民及び市外からの来館者	施策体系	4-2-1		
	意図	自然を学ぶ学習の機会と場を提供する。	新規/継続	継続		
手段	企画展、自然科学講座、自然観察会等の開催、館報の発行を行う。		会計区分	一般		
	年度別事業内容	令和3年度 ○企画展、学習講座等の開催 ○資料の整理 ○館の管理運営 令和4年度 ○企画展、学習講座等の開催 ○資料の整理 ○館の管理運営 令和5年度 ○企画展、学習講座等の開催 ○資料の整理 ○館の管理運営				
事業費・財源	計画額	(千円)	計画額	(千円)	予算対応	予算対応
	合計	9,170	合計	9,170		
	特定	290	特定	8,880	一般	一般
	業務量	0.07人	業務量	454	人件費	人件費
	人件費	2,16人	人件費	6,551	業務量	業務量
合計			人件費合計	7,005	人件費合計	0

○事中評価（予算編成に向けた定性評価）

前年度の課題等に対する取組状況	・収蔵標本のデータベース化を引き続き実施している。
当年度生じた新たな問題等	・小坂田公園駐車場整備工事に伴い、7/1より館を閉館している（令和4年3月31日まで閉館予定）。これにより今年度は入館者が大幅減となる見込み。また、自然観察会や自然講座等といった館外で実施する行事についても、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、延期（1件）や中止（4件）をせざるを得なくなった。 ・今後、自然博物館の移転整備などを進める上で、昆虫標本を主とする資料の扱いや展示・保管の方法などの事項について、専門的知識が求められるがそういった人材がいない。
新年度の予算要求事項（改善・改革案）	・収蔵標本のデータベース化を継続的に行うためにも、本年度と同様の標本同定作業等委託料を希望する。 ・自然博物館整備事業での記載と重複するが、移転前後にわたって携わる専門職員（自然系分野の学問を修了した学芸員資格取得者もしくは研究者）最低1名の配置を強く要望する。

○評価指標

評価指標（単位）	自然博物館の入館者数（人）				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値（事中評価）		2,333			
実績値（事後評価）					
目標値		6,800	6,800	6,800	6,800

○事中評価

評価視点	妥当性	2	やや低い	今後の方向性	①	
	有効性	1	低い			
	効率性	4	高い			
総合評価		C			成果	拡充
総合評価					コスト	拡大

【参考】令和2年度 事後評価

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、林館等の影響はあったが、感染予防対策を講じて自然博物館の運営を行った。特別企画展は計画どおり5回開催できたが、自然科学講座は1回（2回予定）、自然観察会は3回（5回予定）の中止となった。 ・収蔵標本のデータベース化及び国立科学博物館が主管するサイエンスミュージアムネットワークへの登録申請を行った。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・前年と比較して入館者数は減少したが、目標値を上回ることでできた。（前年比22%減は前年度の花フェスタ入館者の影響もある） ・国立科学博物館が主管するサイエンスミュージアムネットワークに3,045件の登録を行うことができ、生物標本に関するデータバンクとしてネット上で全世界へ発信された。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵標本のデータベース化は、収蔵標本が約55,000点あることから継続的な取り組みが必要である。 ・小坂田公園再整備に伴う博物館の移転先及び今後のあり方についてハード・ソフト両面での方向性の決定が急務である。 ・貴重な資料の収集・保管・調査・研究・展示及び教育普及・学習支援といった博物館の使命を果たすには、専門知識を持たない会計年度任用職員のみが配置されている現状では、博物館としての二一に十分に配慮することができない。自然系の知識のある学芸員など専門性をもった職員の継続した雇用・配置が必要である。

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>興味のある子ども達との継続的な連携には期待したい。専門的人材確保の課題解決には時間が掛かりそうだが、興味のある子どもや市外からの来館者も期待できる施設であるので、専門的な学芸員の雇用をなんとか実現してもらいたい。自然博物館での催しとして、シリーズ化した企画を取り入れることで、子どもが参加しやすくなるのではないか。</p>
-------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において余儀なく休館や中止せざるを得ない中であっても、数回の自然科学講座や自然観察会を実施開催していることを高く評価いたします。 ・塩尻市の規模の自治体において、自然系の博物館があるということは非常に大きな資源になり得ると思われる。そうした資源を最大限活用していくためにも、専門職の配置は必要と思われる。 ・公共施設の統廃合がある中での単独館としての在り方はどうなのかと思う。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・小坂田公園駐車場整備の影響や新型コロナウイルスの影響により来館者が激減するとのことですが、博物館の価値を来館者数や利用者数という数値で計るのはやめたほうが良いと思います。本物の展示物を見ることができる、自然を観察する機会を得ることができるという塩尻市自然博物館ならではの企画やイベントを実施することが、博物館の役割であって、その企画やイベントに参加する人が僅か数名であっても私は十二分に価値があると思います。なお、その様な魅力あるイベントや企画を行うには、専門的知識を備える学芸員が不可欠です。学芸員を積極的に公募し、学芸員を常駐させることを進めていっていただきたいと思います。 ・これまで以上に地域に開かれた博物館として、企画展や講座等の工夫をしていく必要があると思われる。 ・複合館とすることで、建設費用やランニングコストの軽減にもつながる。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館の在り方が、既成観念にとらわれることなく、柔軟な発想での考えは出来ないかと思う。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<p>塩尻の自然を考える、観察することのできる子どもたち対象のワークショップ（体験）プログラムの作成などの試みや魅力ある企画展示及びイベントを引き続き計画したい。</p> <p>また、これら企画の運営・コーディネートや展示資料などにおける子どもたちからの「なぜ、どうして」という素朴な質問、他自然系博物館や研究者からの問合せなどへの対応には、専門的知識を持つ職員（学芸員）の常駐は不可欠であるため、配置の確保に努めたい。</p> <p>一方で、ワークショッププログラムやイベントの企画およびその事業実施については、市民及び大学生ボランティア、市内小中学校教諭、市職員等で動植物に造詣の深い者などが参画・協力する仕組みを構築し、それらを活用するなど、専門的知識を持つ職員の不在を補えるような方策を検討していく。</p>
-----------	--

令和3年度 事務事業評価シート（ソフト事業）

○実施計画

事務事業名		ひらいでの里魅力づくり事業		担当課	平出博物館
目的	対象	市民全般		施体系	4-2-1
	意図	交流や誘客を促進するとともに、地域づくり等に寄与する地域資源の活用を図る。		新規/継続	継続
手段	年度別事業内容	令和3年度 ○ひらいで遺跡まつりの開催 ○地域連携講座等の開催 ○こども体験ミュージアムの開催	令和4年度 ○ひらいで遺跡まつりの開催 ○地域連携講座等の開催 ○こども体験ミュージアムの開催	会計区分	一般
	事業費・財源	計画額 (千円) 1,623 遺跡まつり実行委員会負担金 950 講師謝礼 174 その他 499	計画額 (千円) 1,623 一般 1,623 特定 0	計画額 (千円) 0 特定 0 業務量 389 業務量 182 人件費合計 571	予算対応 (千円) 0 一般 0 業務量 0 業務量 0 人件費合計 0
人件費	正規	0.06人	0.06人	人件費	人件費
合計	合計	人件費合計	人件費合計	人件費合計	人件費合計

○事中評価（予算編成に向けた定性評価）

前年度の課題等に対する取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想検討委員会による提言を受け、新平出博物館の根幹となる基本構想を策定することができた。
当年度生じた新たな問題等	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、遺跡まつり及びこども体験ミュージアムを中止とした。 遺跡まつりの代替事業としてフォトコンテストを実施しているが、不特定多数の参加者が集まる体験型イベントは新しい生活様式を踏まえたイベントの在り方を検討する必要がある。
新年度の予算要求事項（改善・改革案）	<ul style="list-style-type: none"> 遺跡まつりは平出遺跡公園について周知の向上を図られるため、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ開催方法や内容を工夫し、実施したい。

○評価指標

評価指標（単位）	遺跡まつり来場者数（人）				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値（事中評価）		0			
実績値（事後評価）					
目標値		4,000	4,000	4,000	4,000

○事中評価

評価視点	総合評価			今後の方向性	
	妥当性	4	高い		A
有効性	4	高い	成果		
効率性	4	高い		現状維持	
総合評価				コスト	現状維持

【参考】令和2年度 事後評価

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で第17回ひらいで遺跡まつりを中止とした。 新平出博物館整備に向け、基本構想検討委員会（延べ3回）を開催した。 中止となったひらいで遺跡まつりの代替事業として平出遺跡フォトコンテストを開催した。 平出遺跡フォトコンテストを開催したところ、写真愛好家というジャンルから遺跡への来訪を促す事ができ、遠分野の魅力発信アプリの可能性が見えた。 新平出博物館基本構想検討委員会では、新しい博物館で扱う対象分野や基本テーマなどについて議論するなど、新博物館の整備に向けた方向性が示された。 新博物館の整備に向け根幹となる基本構想を取りまとめるとともに、より具体性を帯びた基本計画の策定を計画的に推進していく必要がある。
成果	
課題	

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	企画展は、工夫した看板の設置等アピールをより積極的に行ってもよいと思う。ひらいで遺跡祭りは、他地区からの来客も見込め、大人から子どもまで参加できるとも良い祭りだと思う。コロナ禍ではあるが、対策の上実施して頂きたい。また、ブドウの観光シーズンと重なる時期の開催であり、今後は、観光を中心にした地域おこしと積極的に協働していくことを期待する。
--------------------	---

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあっても、ひらいで<small>の</small>里や平出遺跡の魅力を伝えようと恒例の遺跡まつりの開催検討や新規の企画としてフォトコンテストを実施していることを高く評価いたします。 ・遺跡の周知を図っていくためにも、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントのあり方について、引き続き検討、工夫を図っていただきたい。 ・コロナ禍で、でき得る事業として、異分野へのアプローチは、よいアイデアと思う。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・補足資料に記してある平出博物館の課題として利用者の減少(市内からの来館者が半数以下・講座参加者の固定化)とありますが、あまり来館者の数で博物館の魅力や企画の良し悪しを判断されない方が良いと考えます。講座参加者が固定されていても、参加者の好奇心に応え、参加者が歴史を通じ何かを学び取り、知力を高めることができているのであれば、それで十分価値ある企画と言えらると思います。 ・地域一体となってひらいで<small>の</small>里を盛り上げていけるような仕掛けを考えていただきたい ・地元の人と異分野の人の融合できる取り込みを継続することが重要である。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の歴史から、平出区を始め宗賀地区全体を巻き込み、遺跡の重要性を再認識させる方策が必要である。(第一段階で地元と関係地区を巻き込み、段階的に市全域に広げる)

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらいで遺跡まつりについては、これまで主体的に実施している体験以外のメニューの導入に向け検討を行い、今まで以上に魅力あるイベントになるよう取り組んでいきたい。 ・これまでも地区公民館などと連携して開催していた、地域の歴史を題材とした地域連携講座を継続して行うことで、多くの住民に歴史と触れ合う機会を提供していきたい。 ・平出遺跡公園を歴史学習の場としてだけでなく、星空観察会や自然観察会などといった多様な目的で利用できる場として活用を図っていきたい。 ・発掘調査を行う際には、できる限り発掘体験や現地説明会などを行い、遺跡に興味関心を持ってもらうきっかけづくりをしていきたい。
------------------	--

令和3年度 事務事業評価シート（ソフト事業）

○実施計画

事務事業名	公民館事業	担当課	社会教育スポーツ課
対象	市民全体	施策体系	7-2-1
目的	市民の生涯学習を推進すると共に、地域の連携をさらに深めるために、公民館の運営と各種、講座、講演会等を行う。	新規/継続	継続
手段	中央公民館の運営と地区公民館における各種教室、講座、講演会等の運営を支援する。	会計区分	一般
年度別事業内容	令和3年度 ○学級講座の開催 ○地区公民館事業の推進	令和5年度 ○学級講座の開催 ○地区公民館事業の推進	
事業費・財源	計画額 (千円) 42,224 地区公民館事業負担金 27,656 会計年度任用職員報酬 9,800 非常勤職員報酬 1,133 学級講座講師謝礼 800 その他 2,835	計画額 (千円) 予算対応 計画額 (千円) 予算対応	予算対応
人件費	特定 1,500 一般 40,724	特定 一般	一般
正規	業務量 0.70人 人件費 4,538	業務量 0 人件費	人件費
会計年度等	業務量 1.16人 人件費 3,518	業務量 0 人件費	人件費
合計	人件費合計 8,056	人件費合計	人件費合計

○事中評価（予算編成に向けた定性評価）

前年度の課題等 に対する 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症の蔓延状況により各種事業の中止や延期はありながらも、対策を行いつつ、活動を継続している。 ・オンラインツール(YouTubeの動画配信やZoomを利用した講座、SNSの情報発信)を継続的に活用している。 ・分館役員支援として、公民館研究会の動画配信、分館役員向けの講座を実施した。
当年度生じた新たな問題等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症の蔓延状況により各種事業の中止や延期が生じているが、その都度対応をしながら可能な範囲で活動を継続していく。 ・対面の講座も重要視しながら、オンラインツールを活用した事業も同様に検討、計画していく。後期には各公民館のWi-Fi整備が整うようなので、公民館職員がオンラインツールを使用できるような研修の場を設けていく。
新年度の予算要求事項（改善・改革案）	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業の予算は、地区公民館事業負担金と職員報酬、講師謝礼が主なるものになるが、事業の精査・見直しを継続していく。 ・新年度予算に関しては、学級講座謝礼を減額（前年度マイナス50万円）したが、事業講座を推進していくためにも増額をお願いしたい。（プラス30万円） ・限られた予算で最大の効果が発揮できるような人員配置を要求したい。

○評価指標

評価指標（単位）	公民館事業参加人数（人）				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値（事中評価）		5,677			
実績値（事後評価）					
目標値		25,000	25,000	25,000	25,000
評価指標（単位）	公民館事業参加人数（人）				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値（事中評価）					
実績値（事後評価）					
目標値					

○事中評価

評価視点	妥当性	4	高い	今後の方向性	
	有効性	3	やや高い		成果
	効率性	3	やや高い		
総合評価					
A					
コスト					
現状維持					

【参考】令和2年度 事後評価

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて新型コロナウイルス感染症の影響により、従来行っていた各地区の文化祭や運動会などの大きな行事や公民館関係者が一向に会する公民館研究会が中止となった。しかし後期ではコロナ対策の方法を把握してきたこともあり、対策を講じながら出来る範囲でその時に来る事を各公民館で実施し、地域のつながりづくり、学びの場の提供が途切れないよう努めた。 ・事業・講座数は、59回の講座を実施し、延べ11,073人が参加した。区公民館では、510回の事業・講座を実施し、延べ915人、地区公民館では、59回の講座を実施し、延べ11,073人が参加した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により従来の公民館活動の見直しが行えた。 ・新たな形の事業展開（Zoom講座やYouTube動画配信、SNSの活用など）が求められ、地域の特性や新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、工夫をした事業展開が実施できた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式の中で、従来通りの公民館活動を行うことはしづらく難しいが、対面での人と人とのつながりが第一に考えながらも、オンラインやSNSの活用も引き続き実施・検討していく必要がある。 ・コロナ禍での集まりの影響による地域住民の「外に出ない」「他者とつながりたい」気持ちは強くなってきているため、その気持ちを公民館活動でどのように受け止める、形にしていけるかが検討が必要である。 ・分館役員が新型コロナウイルス感染症を理由に事業を止めてしまう傾向があるため、公民館活動の重要性を伝えつつ、分館活動の支援も必要である。

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>昨年度に比べ、公民館活動が工夫を凝らして実施されていると感じ評価できる。事業実施にあたっては、賛同意見ばかりではないと思うので、企画運営の責任部署、志あるリーダーの皆さんへのサポートもお願いしたい。各公民館に Wi-Fi が整備されたことで、子どもや高齢者向けの Wi-Fi を使った講座等の開催も期待したい。</p>
-------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあっても、公民館の根幹の役割となる地域住民とのつながりづくりや学びの場づくりを各公民館でできる範囲で積極的に行っていることを何よりも高く評価いたします。 ・コロナ禍において、各公民館での講座等生涯学習や地域づくりの機会を途切れさせることなく継続的に実施したことは地区にとって意義のあることである。 ・工夫をして事業実施している点は、評価できる。
改善提案	<p>・Zoom や YouTube 等のオンラインツールを活用した講座や企画は、対面による講座にはないオンラインならではの利点を十二分に活かせる様な企画をお勧めいたします。例えば、オンライン講座であれば、参加者人数は大規模で実施できますし、海外などの遠方とつなぎ、遠方の講師による講座も可能です。ほかに、オンライン講座であればアーカイブ化することにより、見逃し配信も可能です。この様にオンラインツールを活用する場合は、その魅力や利点を十二分に活かすことが大事かと思えます。私は、公民館に期待される地域住民とのつながりや学びの場づくりは、基本的には対面による交流が基本だと思えます。恐らく公民館に足を運ぶ方々もそう考えておられるので来館されるのだと思えます。オンラインツールの活用が良くないと言う意味ではなく、オンラインツールによる講座は対面による講座の代替ではなく、オンラインならではの利点をしっかり見定めることがオンラインツールの活用において大切だと思えます。</p> <p>・地区館における従来からの事業は、コロナ禍の経験から棚卸しをして、見直し検討を要する。</p>
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインツールを活用していくなかで出てきた課題をしっかりと捉えていただくとともに、直接的な出会いの場としての公民館の意義をあらためて考えていく必要があると思われる。 ・運動会や文化祭の運営の仕方を段階的に見直しの方向で検討する。 <p>形式的なセレモニーを止め、来賓は一区民での参加とする（従来形式からの脱却）</p>

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<p>公民館講座や企画は、必要としている地域の皆様に提供できるよう「対面」を前提とした取り組みを今後も進めてまいります。</p> <p>オンラインツールを活用した講座等は、コロナ禍においても途絶えることが無いように、また、オンラインの特性を十分に活かせるよう取組を進めてまいります。</p> <p>コロナ禍を経験したことで、地域で必要としている活動が継続され、必要に応じ見直しを進めるなど公民館活動のあり方を地域の皆さんと考える良い機会でもあるので、御意見も踏まえ、必要な改善に取り組んでまいります。</p>
-----------	--

令和3年度 事務事業評価シート（ソフト事業）

○実施計画

事務事業名		市民交流センター交流企画事業					
目的	対象	市民全体、事業者、各種団体、市外からの来館者					
	意図	新しい人々や多くの人が絶えず行きかう場を創出し、知恵の交流を通じた人づくりを図る。					
手段	内容	5つの重点分野「図書館、子育て支援、青少年交流、シニア活動支援、市民活動支援」を融合した事業を実施する。また、様々な活動のための基礎提供事業を行う。	市民交流センター 10-2-1 継続 一般				
	年度別事業内容	<p>令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○センターの貸館受付と証明発行業務 ○センターの協同による運営 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業の実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施 <p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○センターの貸館受付と証明発行業務 ○センターの協同による運営 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業の実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施 <p>令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○センターの貸館受付と証明発行業務 ○センターの協同による運営 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業の実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施 					
事業費・財源	計画額	(千円)	19,378	計画額	(千円)	19,378	予算対応
	会計年度任用職員報酬等		13,482				
人件費	費用	!!講座運営事業等委託料	1,500	人件費	0	業務量	0
		市民営提案事業委託料	1,418	人件費	0	業務量	0
		交流イベント開催委託料	600	人件費	0	業務量	0
		その他	2,378	人件費	0	業務量	0
		合計		24,778	人件費合計	0	業務量合計

○事中評価（予算編成に向けた定性評価）

前年度の課題等に対する取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きイベント開催後のアンケートを実施し、参考としながらニーズに沿った内容を検討している。また、新規のイベントについても、幅広い年代を対象に、より多くの方に参加いただける企画を進めている。 ・施設利用方法については、窓口担当者及び課内職員会議にて対応を検討、決定し、丁寧な案内を行っている。
当年度生じた新たな問題等	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった企画を、今年度あらためて実施したところ、多くの参加希望があった。しかし、感染症対策として参加人数を抑えての実施としたため、複数回の実施など、なるべく多くの希望者が参加できる方法を検討する必要がある。
前年度の予算要求事項（改善・改革案）	<ul style="list-style-type: none"> ・交流企画事業についてはこれまでの経験が蓄積されているため、どの事業も参加者の満足度が高く、引き続き実施していくとともに、新たな企画を積極的に展開していきたい。 ・市民営提案事業から生まれた「こどもおじり」については、独自性が高い評価を得ているため、引き続き委託事業として実施する。 ・窓口職員については会計年度任用職員三種に位置付けし、シフト編成の確保によりサービスの向上を図られているため、継続したい。

○評価指標

評価指標（単位）	貸館利用者人数（人）				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値（事中評価）		15,113			
実績値（事後評価）					
目標値		40,000	50,000	60,000	
評価指標（単位）	講座等参加者満足度（%）				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値（事中評価）		98.2			
実績値（事後評価）					
目標値		90.0	90.0	90.0	

○事中評価

評価視点	妥当性	3	やや高い	今後の方向性	②
	有効性	3	やや高い		
	効率性	2	やや低い		
総合評価		B		成果	拡充
				コスト	現状維持

【参考】令和2年度 事後評価

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設機能（ICTルーム）を活用し、暮らしや仕事に役立つ「ばこそ基礎講座」を25講座28回実施した。 ・ビジネス支援や子育て支援・青少年交流など、多様な内容による講座や講演会を実施し、五つの重点分野を融合した事業を8事業18回開催した。 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、市民営提案事業による交流企画事業こともだけの街「こどもおじり」については、オンラインで実施した。 ・センターの貸館業務や証明書交付を行い、丁寧な窓口対応を心掛けた。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講座や講演会、また大人数の集まるイベントについては規模縮小若しくは中止としたが、年間で開催1,600人の参加があり、機会が減りながらも交流を通じた新たな知恵の創造につながることができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、可能な限り事業を開催するとともに、住民のニーズに合わせた内容での講座を再検討し、より効果的に事業を実施していく必要がある。

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	市民交流センターでは年間を通して様々な企画がされており、小さい子供からお年寄りまで常に賑わっていると感じている。コロナ禍の制約がある状況でも、工夫して満足度の高い事業となっていることに感謝を申し上げたい。さらに充実を目指していく中で、街全体の利便性（交通機関、滞在型消費など）と連動した事業展開を期待したい。
--------------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業が意図している交流の場の創出、知恵の交流を通じた人づくりについては、このコロナ禍にあっても、数多くの企画やイベントを継続的に実施開催することで、その意図は十二分に達成されており、その点を高く評価いたします。 ・困難な状況下における事業の工夫は評価できるが、事業厳選も必要ではないか。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・交流企画事業については、参加者の満足度が高くニーズに込えている現行の催し物の継続も行いつつ、これまでの交流企画事業により得られた知見や経験をさらに広げる様な新規の企画等も開催されていくことも期待します。 <p>本の寺子屋の講演はとても人気の様で、抽選に通らず残念ながら参加できなかったという声も聞きます。とても興味深い講演ばかりのため、講演をアーカイブ化し、見逃し配信などにより、多くの方の知的好奇心を満たせる様にさせていただけると良いかと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民営提案からの事業に特化するなど、市民の参画をより一層促すことが重要
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を考えると、評価指標として貸館利用者人数が適切であるのか検討する余地もあると思われる。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・交流企画事業の新規企画と市民参画の促進について <p>イベントの企画にあたっては、アンケートにより満足度や希望するテーマなどを把握するとともに、市民活動団体の運営参画に配慮しながら事業の充実を図っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本の寺子屋のアーカイブ化について <p>講演の録画配信や講演録の作成・公開に慎重な判断をする講師が多いため、講演内容の概要を職員がまとめてホームページ上で公開しているのが現状です。</p> <p>講師の理解が得られた講演に限り、県内外のサテライト会場をつないでのリモート配信を導入しています。</p> <p>講師の息遣いが感じられる会場設定や講演後の質疑応答は、本の寺子屋開催当初から大切にしてきた点で、参加者からの評価につながっているため、今後も大切にしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価指標の検討について <p>評価指標が適切なものとなるよう御意見を参考に見直しをしていきます。</p>
------------------	---

令和3年度 事務事業評価シート（ソフト事業）

○実施計画

事務事業名		図書館サービス基盤整備事業		担当課	図書館		
目的	対象	市民と市外の人、団体、企業		施策体系	10-2-2		
	意図	図書館資料の充実と活用。図書館システムによる安定的な運営		新規/継続	継続		
手段	年度別事業内容	図書等の購入をすすめる。資料等データの整備を行う。図書館システムを活用したサービス提供を行う。		会計区分	一般		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
		<ul style="list-style-type: none"> ○図書館電算機器使用料 ○図書館システム更新 ○図書データ整備 ○情報資料の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館電算機器使用料 ○図書データ整備 ○情報資料の購入 				
事業費・財源	計画額	(千円)	59,986	計画額	(千円)	予算対応	
	電算機器リース料		17,422				
	図書データ作成委託料		1,804				
	図書購入費		30,000				
	雑誌、新聞購入、10タグ等		7,643				
	その他		3,117				
人件費	特定	50	一般	59,936	特定	一般	
	業務量	1.15人	人件費	7,455	業務量	0	人件費
	業務量	4.77人	人件費	14,467	業務量	0	人件費
	合計	人件費合計	21,923	人件費合計	0	人件費合計	

○事中評価（予算編成に向けた定性評価）

前年度の課題等 に対する 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズに対応するため、必要な資料の購入を進めるとともに、基準に沿った除籍を行った。 ・新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら通常どおりのサービス提供を行い、来館者数、貸出冊数ともに平常時の数値を維持することができた。 ・図書館システムの更新にあたり機能の充実を図り、利用者サービスの向上と職員の業務効率化につなげる。
当年度生じた新たな問題等	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの移行により、一時的に選書・発注業務が通常どおり行えなくなることが分かった。システム移行後の発注業務をスムーズに行えるよう調整する必要がある。 ・県が「市町村と県による協働電子図書館（仮称）」の研究と予算要求を進めており、協議に参加している。 ・新システムの導入に当たり、新館開館予定の自治体からシステム共同利用について協力依頼があった。課題の抽出を行い実施の可否について研究を進める。
新年度の予算要求事項（改善・改革案）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の様々なニーズに対応できる資料・情報のさらなる充実と、提供する職員の資質向上が必要である。 ・新システムの機能の活用にも、所蔵資料のデジタル化など資料の新たな提供方法を検討し実行していくとにも、来年度予算は現状維持を希望する。 ・県が進めている電子ブック共同利用についてR4年度試用の予定が示された。単独での導入よりも大幅なコスト削減が見込めるため、県の動向によって来年度予算への必要経費の計上を予定する。

○評価指標

評価指標（単位）	蔵書数（冊）				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値（事中評価）		505,405			
実績値（事後評価）					
目標値		515,000	530,000	545,000	

評価指標（単位）	蔵書数（冊）				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
中間値（事中評価）					
実績値（事後評価）					
目標値					

○事中評価

評価視点	妥当性	3	やや高い	今後の方向性	⑤
	有効性	3	やや高い		
	効率性	3	やや高い		
総合評価		A		成果	現状維持
				コスト	現状維持

【参考】令和2年度 事後評価

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズに対応するための資料購入と情報の古い資料の除籍を進めた。 ・図書館システムを活用することで、新型コロナウイルス感染症による一部サービスの停止期間であっても積極的に予約資料の提供などを行うことができた。 ・図書館システムの更新に向けて機能要件の検討や導入館の視察を行った。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料の充実で、市民の課題に対応するための情報提供基盤が整備され、図書館ホームページからのweb予約数は、前年と比べ21,000件増加した。また、十分なコロナ対策を行いながら資料提供を行い、6月からは例年と並りの貸出数に届くことができた。 ・システム更新に向けて機能要件の検討や導入館の視察を行った。 ・各社のパッケージ機能の検証や導入館の視察を行った。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なニーズに対応できる資料・情報のさらなる充実と、提供する職員の資質向上が必要である。 ・図書館を安全に利用してもらうため、新型コロナウイルス感染症対策として利用者と職員の十分な感染症対策を行う必要がある。 ・システム更新に向けた機能の検討を行い、利用者と職員の利便性が向上するように選定を進める必要がある。

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>コロナ禍の下、来館者数や貸し出し冊数が平常時の数値を維持できたことは、市民のニーズに応じた様々な工夫や努力をしていただいたからではないかと考える。今後は、デジタル化への移行で、ICT生涯教育が想定される。変化する社会に対応できるよう、必要と思われる方策をとっていただくことが良いのではないかと思います。交流事業のあり方と合わせて、進化する図書館に期待をしている。</p>
-------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の対策も講じつつ、図書館機能を止めることなく、サービス提供を行っていることを高く評価いたします。来館者数や貸し出し冊数が、平常時とさほど変わらないという点は、大変驚きです。 ・コロナ禍において、来館者数、貸出冊数ともに維持できたことは素晴らしいことである。維持できた要因についても分析し、今後の事業展開に生かしていただきたい。 ・利用者へのサービス向上に向けての電子ブック共同利用の取組みは評価できる。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館のサービスを整備する事業として、塩尻市立図書館や広丘図書館の図書の実充のほかに、図書利用者の身近にある図書として「学校図書」のさらなる充実や各公民館に貸し出し本棚を設置することなども検討されてみてはいかがでしょうか。図書館サービス基盤整備事業を通じて、市のどこでも図書に溢れているという本文化が根付いていくことは大変良いことだと思います。 ・県の電子ブック共同利用に加入した後は、利便性を広く市民に周知する。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・電子ブックは、印刷物（図書）が、読むだけのものから活用される情報が進化して、伝達力、訴求力が高まることから、積極的に対応してほしい。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館への書架設置と学校図書館の充実について 各小学校区（地区公民館）に分館が設置されている点は、塩尻市立図書館の特色であり強みです。公民館と連携した読書推進イベントの開催件数を分館サービスの指標に掲げ取り組んでいます。地域ごとのニーズを把握しながら分館サービスの充実に努めていきます。 学校図書館の資料充実が図られるよう、学校司書の業務支援や団体貸出により努めるとともに、資料費予算の増額に向けては、引き続き学校図書館長である校長などへの働きかけを継続します。 ・電子ブックの周知と活用について 電子ブックの周知と利用拡大は、共同利用事業の主要なテーマです。県と連携しながら周知に取り組み、図書館未利用者などへの働きかけも含めて利用促進を図ります。小中学校への導入・活用も GIGA スクール推進の上で欠かせないと考えます。
-----------	--

塩尻市教育振興基本計画成果指標

基本目標	施策	指標名	対象者	計画前	時点 (年度)	近年の 傾向	H30	R1	R2	比較	目指す 方向	目標値	標準値(計画時)	情報源	周期					
【知】 確かな知識とそ れを活用する知 恵の育成	1 知識となる基礎学 力の定着や技能 の習得	授業以外(月～金)の1日当たりの学習時間が小学 生1時間以上、中学生2時間以上の児童・生徒の割 合(小6…1時間以上 中3…2時間以上) 授業でコンピュータなどのICT機器をほぼ毎日使 用した児童・生徒の割合 国語の授業の内容が分かる児童・生徒の割合 ※H30は調査項目なし 算数・数学の授業の内容が分かる児童・生徒の 割合	小6	70.4%	H29	→	65.2%	69.3%	—	—	↗	国・県より低割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	69.3%	全国学力・学習状況 調査	1年					
			中3	32.8%	H29	↘	29.9%	27.8%	—	—	—	↗	国・県より低割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。			27.8%				
			小6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	↗			国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	15.5%			
			中3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	↗			国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	7.1%			
			小6	83.8%	H29	↗	—	86.1%	86.1%	—	—	—	↗			国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	86.1%			
			中3	82.3%	H29	↘	—	77.4%	77.4%	—	—	—	↗			国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	77.4%			
			小6	84.3%	H29	→	84.7%	86.3%	86.3%	—	—	—	↗			国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	86.3%			
			中3	70.3%	H29	↗	73.8%	79.0%	79.0%	—	—	—	↗			前年度よりも高割合を目標とし、国・県の割 合よりも高割合を目標とする。	79.0%			
			小6	71.7%	H29	↘	—	60.4%	60.4%	—	—	—	↗			前年度よりも高割合を目標とし、国・県よりも 高割合を目標とする。	60.4%			
			中3	61.5%	H29	↘	—	55.6%	55.6%	—	—	—	↗			前年度よりも高割合を目標とし、国・県よりも 高割合を目標とする。	55.6%			
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	1 一人ひとりの豊か な心の育成	将来の夢・目標を持っている児童・生徒の割合 人の役に立つ人間になりたいと思う児童・生徒 の割合 地域行事の参加割合 学校の規則を守っている児童・生徒の割合	小6	87.8%	H29	↘	88.0%	82.9%	—	—	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	82.9%	全国学力・学習状況 調査	1年					
			中3	71.4%	H29	→	72.4%	70.7%	—	—	—	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。			70.7%				
			小6	93.6%	H29	→	95.6%	95.6%	—	—	—	—	↗			現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	95.6%			
			中3	93.7%	H29	→	96.0%	96.2%	—	—	—	—	↗			現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	96.2%			
			小6	90.1%	H29	→	86.8%	90.0%	90.0%	—	—	—	↗			現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	90.0%			
			中3	74.9%	H29	↗	68.0%	76.8%	76.8%	—	—	—	↗			国・県の割合よりも高割合を目標とする。	76.8%			
			小6	94.9%	H29	→	91.4%	94.7%	94.7%	—	—	—	↗			現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	94.7%			
			中3	95.6%	H29	→	95.7%	97.8%	97.8%	—	—	—	↗			現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	97.8%			
			小6	92.5%	H29	→	89.9%	92.0%	92.0%	—	—	—	↗			現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	92.0%			
			中3	94.5%	H29	→	91.8%	94.2%	94.2%	—	—	—	↗			現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	94.2%			
【体】 健やかな体の育 成と規則正しい 生活習慣の定着	1 規則正しい生活習 慣の定着	規則正しい生活状況(同じ時刻に起きる児童・ 生徒の割合) 規則正しい生活状況(同じ時刻に寝ている児 童・生徒の割合) 授業以外(月～金)の1日当たりの読書時間が3 0分以上の児童・生徒の割合 一人あたりの年間読書冊数(学校図書館) スマホ、タブレット、ゲーム機等の利用につい て、家の人と約束があり守っている児童の割合 朝食を毎日食べる児童・生徒の割合 大人と朝食をとる児童の割合 ※H30は調査項目なし	小6	84.5%	H29	→	78.7%	83.1%	—	—	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	83.1%	全国学力・学習状況 調査	1年					
			中3	80.0%	H29	→	75.6%	79.4%	—	—	—	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。			79.4%				
			小6	38.5%	H29	↗	46.5%	49.4%	49.4%	—	—	—	↗			国・県の割合よりも高割合を目標とする。	49.4%			
			中3	40.9%	H29	↘	37.6%	35.5%	35.5%	—	—	—	↗			国・県の割合よりも高割合を目標とする。	35.5%			
			小学校	77.9冊	H29	—	81.1冊	74.7冊	74.7冊	75.3冊	前年	前年	↗			前年度よりも多い冊数を目標とする。	74.7冊			
			中学校	25.4冊	H29	—	19.2冊	18.5冊	18.5冊	13.3冊	前年	前年	↗			前年度よりも多い冊数を目標とする。	18.5冊			
			小6	—	—	—	—	58.8%	66.7%	66.7%	前年	前年	↗			基準年度よりも高割合を目標とし、県よりも 高割合を目標とする。	58.8%			
			小6	97.0%	H29	→	99.3%	97.6%	97.6%	—	—	—	↗			現状の高割合を維持しつつ、前年度よりも 高割合を目標とする。	97.6%			
			中3	96.0%	H29	↘	92.6%	94.0%	94.0%	—	—	—	↗			現状の高割合を維持しつつ、前年度よりも 高割合を目標とする。	94.0%			
			小学生	55.0%	H29	→	—	60.0%	60.0%	57.7%	前年	前年	↗			前年度よりも高割合を目標とする。	60.0%			
中学生	48.1%	H29	→	—	48.8%	49.5%	49.5%	前年	前年	↗	前年度よりも高割合を目標とする。	48.8%								
3 運動に親しみ、健 康な体をつくる習 慣の定着	2 正しい食習慣の定 着	体力の合計点 運動が好きと思っている児童・生徒の割合	小5男	56.35点	H29	→	55.70点	54.39点	—	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	54.39点	全国学力・学習状況 調査	1年					
			小5女	57.49点	H29	↘	57.47点	54.58点	54.58点	—	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。			54.58点				
			中2男	43.57点	H29	→	43.02点	42.78点	42.78点	—	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。			42.78点				
			中2女	50.18点	H29	↘	53.21点	44.23点	44.23点	—	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。			44.23点				
			小5男	70.5%	H29	→	75.1%	70.5%	70.5%	—	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。			70.5%				
			小5女	55.0%	H29	↘	58.5%	48.8%	48.8%	—	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。			48.8%				
			中2男	64.0%	H29	→	61.4%	62.3%	62.3%	—	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。			62.3%				
			中2女	41.5%	H29	↘	51.4%	33.6%	33.6%	—	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。			33.6%				
			社会を生き抜く力の養成	3 健やかな体の育 成と規則正しい 生活習慣の定着	運動習慣の定着	小5男	54.39点	H29	→	55.70点	54.39点	—	—			↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	54.39点	市教委調査	1年
						小5女	54.58点	H29	↘	57.47点	54.58点	54.58点	—			—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。		
中2男	42.78点	H29				→	43.02点	42.78点	42.78点	—	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	42.78点						
中2女	44.23点	H29				↘	53.21点	44.23点	44.23点	—	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	44.23点						
小5男	70.5%	H29				→	75.1%	70.5%	70.5%	—	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	70.5%						
小5女	48.8%	H29				↘	58.5%	48.8%	48.8%	—	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	48.8%						
中2男	62.3%	H29				→	61.4%	62.3%	62.3%	—	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	62.3%						
中2女	33.6%	H29				↘	51.4%	33.6%	33.6%	—	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	33.6%						
全国平均	—	—				—	—	—	—	—	—	—	—	—	全国平均	全国体力・運動能力、 運動習慣調査	1年			

基本目標	施策	指標名	対象者	計画前	時点(年度)	近年の傾向	H30	R1	R2	比較	目指す方向	目標値	標準値(計画時)	情報源	周期	
4 きめ細かな支援 による教育の平 等な提供	1 一人ひとりに対す るきめ細かな指導 の推進	学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合 ※H30は調査項目なし	小6	88.1%	H29	→	—	86.9%	—	—	↗	前年度よりも高割合を目標とし、 合よりも高割合を目標とする。	86.9%	全国学力・学習状況 調査	1年	
			中3	81.1%	H29	→	—	79.3%	—	—	—	↗	前年度よりも高割合を目標とし、 合よりも高割合を目標とする。			79.3%
			小6	80.1%	H29	↗	—	97.4%	83.4%	—	—	↗	前年度よりも高割合を目標とし、 合よりも高割合を目標とする。			83.4%
			中3	73.7%	H29	↗	—	77.6%	79.2%	—	—	↗	前年度よりも高割合を目標とし、 合よりも高割合を目標とする。			79.2%
4 きめ細かな支援 による教育の平 等な提供	先生が自分の良い点を認めてくれていてと思う 児童・生徒の割合	市内在住の年中児のうち元気づけ子相談を受けた 子どもの割合	小6	—	—	—	—	—	—	—	↗	前年度よりも高割合を目標とし、 合よりも高割合を目標とする。	88.3%	市教委調査	1年	
			中3	—	—	—	—	—	—	—	—	↗	前年度よりも高割合を目標とし、 合よりも高割合を目標とする。			84.3%
			年中児	97.0%	H29	→	96.8%	97.1%	98.1%	98.1%	前年	→	現状の高割合を維持する。			97.1%
			小5	—	—	—	—	—	—	61.0%	前年	↗	前年度よりも高割合を目標とする。			56.0%
5 学校・家庭・地域 が一体となった 教育体制の整備	2 地域での教育力の 活用	3 支援が必要な家庭 への対応の充実	中1	71.0%	H29	→	55.0%	55.0%	58.9%	前年	↗	前年度よりも高割合を目標とする。	55.0%	市教委 (Q-Uアンケート)	1年	
			全市民	37.4%	H29	↗	40.3%	37.6%	42.8%	42.8%	前年	↗	前年度よりも高割合を目標とする。			37.6%
			学校教職員	8講座 383人	H29	—	8講座 561人	8講座 440人	1講座 19人	8講座 440人	前年	↗	前年度を下回らないことを目標とす る。			8講座 440人
			幼稚園、保育園、小学校 教職員	こども128回 教職員49回	H29	—	こども132回 教職員50回	こども136回 教職員41回	こども30回 教職員24回	こども136回 教職員41回	前年	→	現状を維持することを目標とする。			こども136回 教職員41回
6 充実した教育を 受けられる環境 の整備	1 学校教育施設の 整備	2 安心して子どもを預けられる環境があると感じる 人の比率	学校	6校	H29	—	6校	8校	—	—	↗	計画の目標件数の達成	8校	市教委調査	1年	
			学校	—	—	—	—	—	—	—	—	↗	計画の目標件数の達成			—
			学校図書館	小1校 中2校	H29	—	小2校 中2校	小2校 中2校	小3校 中3校	小2校 中2校	前年	↘	学校図書館図書標準に定められた 割合をすべての学校が上回る			小2校 中2校
			全市民	36.8%	H29	↗	43.1%	38.9%	44.4%	44.4%	前年	↗	前年度よりも増加することを目標と する。			38.9%
6 充実した教育を 受けられる環境 の整備	2 学校の教育環 境の整備	公民館事業の子どもの参加者数	児童・生徒	66講座 3,251人	H29	—	63講座 3,527人	66講座 3,896人	55講座 2,490人	前年	↗	前年度よりも増加することを目標と する。	66講座 3,896人	市教委調査	1年	
			点検箇所 35 対策実施 22	H29	—	点検箇所 33 対策実施 21	点検箇所 30 対策実施 21	点検箇所 17 対策実施 8	点検箇所 30 対策実施 21	前年	↘	積み残し件数の減少	点検箇所 30 対策実施 21			

※ 全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力・運動習慣調査については、新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等を考慮し未実施であったため、数値なし。

元気っ子育成支援プランⅢ 評価指標 調査票

○塩尻は「子育てしやすいまち」であると思う市民の割合

担当課:企画課(市民意識調査) 計画:30頁

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
—	—	—	51.2	58.1	55.4	56.1	55.5	54.1	61.7	%
									目標値	60.0

○合計特殊出生率(塩尻市)

担当課:健康づくり課 計画:30頁

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
1.41	1.48	1.65	1.57	1.53	1.70	1.62	1.50	1.50	1.58	人
									目標値	1.7

○市内在住の年中児のうち元気っ子応援事業を受けた子どもの割合

担当課:家庭支援課 計画:33頁

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
90.5	87.5	88.7	92.9	96.6	97.9	97.0	94.5	97.1	100.0	%
									目標値	99.0

○子育て体験講座へのパパの参加率

担当課:健康づくり課 計画:34頁

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
73	67	96	101	100	98	120	75	62	10.6	%
※令和元年度までは、人数で算出(参考:令和2年度50人)									目標値	15

○社員の子育て応援宣言市内登録企業数

担当課:産業政策課 計画:36頁

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
—	—	—	20	28	43	44	52	55	56	社
									目標値	70

○仕事と生活とのバランスに満足している市民の割合

担当課:企画課(市民意識調査) 計画:36頁

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
—	—	—	45.2	32.7	35.1	33.9	39.7	36.8	42.8	%
									目標値	40.0

○市内のながの子育て家庭優待パスポート事業参加事業者数

担当課:社会教育スポーツ課(旧男女共同参画・若者サポート課) 計画:39頁

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
104	108	114	116	128	135	128	129	131	131	社
									目標値	150

○離乳食教室参加者数

担当課:健康づくり課 計画:40頁

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
181	179	190	193	191	197	159	161	143	96	人
									目標値	190

※新型コロナウイルスの影響でR2.4月～6月は中止

○家族と一緒に食事をとる人の割合(幼児)

担当課:こども課 計画:40頁

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
—	—	—	73	83	77.0	80.0	68.0	65.0	68.0	%
									目標値	90.0

○安心して子どもを預けられる環境があると感じる市民の割合

担当課:企画課(市民意識調査) 計画:48頁

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
42.5	41.3	39.3	39.4	36.9	39.4	36.8	43.1	38.9	44.4	%
									目標値	45.0

○ファミリーサポートセンターの提供会員数

担当課:子育て支援センター 計画:48頁

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
—	—	—	—	—	—	—	83	92	95	人
									目標値	95

○子育ての不安や悩みなどを解消するためのサポートがなされていると感じる市民の割合

担当課:企画課(市民意識調査) 計画:55頁

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
40.4	36.8	34.7	34.9	34.0	35.4	30.9	36.9	37.4	40.4	%
									目標値	40.0

○20歳～49歳の社会増加数

担当課:企画課(旧地方創生推進課) 計画:57頁

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位
△ 18	98	△ 33	△ 18	163	129	80	142	40	△ 18	人
									目標値	0

塩尻市生涯学習推進プランⅢ 指標一覧

基本目標	施策の柱	基本施策	指標	現状値/年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標	出所・相当課(R3)	備考1	備考2
1 みんなに開かれた学習の場への整備と活用	1 生涯学習関連施設の充実	1 生涯学習関連施設の充実	図書館や公民館などの利用環境が整っている	73.6%	H26 73.1%	H26 78.8%	71.7%		市民意識調査	市民意識調査(満足・やや満足)	
		2 市民交流センターの効果的活用の推進	総合文化センター利用者数	91,783	H25 81,632	H25 82,677	44,620	287	社会教育スポーツ課(社会教育)	公民施設予約システムの数値	
		3 地区公民館等の効果的活用の推進	5つの重点分野をテーマとした事業の開催数	287	H25 103	H25 332	294	13,607	市民交流センター・図書館・子育て支援センター	事業開催数	R2:図書館 213 交流 18 子育て 63
		4 ふれあいプラザの効果的活用の推進	5つの重点分野をテーマとした事業の参加者数	13,607	H25 12,780	H25 17,842	8,929	510	市民交流センター・図書館・子育て支援センター	上記事業の参加者数	R2:図書館 5,707 交流 872 子育て 2,350
		5 文化財の保存・整備	地区公民館・分館における各種講座等の開催数	971	H25 666	H25 660	510	11,073	中央公民館	事業開催数	
		6 芸術文化の施設活用	地区公民館・分館における各種講座等の参加者数	17,543	H25 17,010	H25 16,622	14回 201人	92%	中央公民館	上記事業の参加者数	
		7 自然体験宿泊施設の維持と効果的活用	ふれあいプラザにおける各種講座等の開催数・参加者数	14回・200人	H26 25回 429人	H26 91.6%	80.0%	1	社会教育スポーツ課(共生推進)	事業開催数	
		8 その他の施設の維持と効果的活用	講座受講者の満足度	0	H26 0	H26 1	1	13,950	社会教育スポーツ課(共生推進)	上記事業の参加者数	
		1 新たな学習空間の確保	芸術文化施設の利用者数	1,956,162	H25 115,214	H25 97,772	0	2,399	文化財課	レザンホール利用者数	
		2 学習情報の収集と提供	博物館施設等への入館者数	4,568	H25 4,563	H25 3,649	7,718	5,559	文化財課	施設利用者数	
2 学習機会の提供と情報発信	1 ライフステージに応じた自主的な応じた学習機会 の提供	1 乳幼児期 生活習慣の確立	自然体験宿泊施設の稼働率	7,766	H25 8,556	H25 9,842	7,718	6,500	文化財課	施設利用者数	
		2 少年期 様々な体験の場、体験の機会づくり	中村邸	16,082	H25 10,243	H25 10,320	5,559	1,163	文化財課	施設利用者数	
		3 学習情報の収集と提供	木曾漆器館	3,332	H25 3,398	H25 3,036	900	4,063	文化財課	施設利用者数	
		4 学習相談体制の充実	賛川閣所	1,841	H25 1,256	H25 1,255	0	34	文化財課	施設利用者数	
		5 成果の活用と還元	平出博物館	5,543	H25 6,263	H25 6,131	4,063	928	文化財課	施設利用者数	
		6 成果の発表・活用と地域への還元	平出博物館	928	H25 2,132	H25 2,328	1,362	168	文化財課	施設利用者数	
		7 成果の発表・活用と地域への還元	本法歴史の里資料館	510	H25 409	H25 280	0	2,509	文化財課	施設利用者数	
		8 成果の発表・活用と地域への還元	古田寛記念館	2,509	H26 2,620	H26 2,585	0	475,861	文化財課	施設利用者数	
		9 成果の発表・活用と地域への還元	塩尻体験宿泊施設の稼働率	475,861	H25 474,213	H25 434,998	300,302	36.4%	文化財課	施設利用者数	
		10 成果の発表・活用と地域への還元	誰でもスポーツに取組める環境がある	46.2%	H26 32.8%	H26 33.6%	36.4%	0	市民意識調査	市民意識調査(満足・やや満足)	
3 新しい仲間をつくる団体・サークルの育成	1 多様なニーズに応じた学習機会 の提供	1 学校開放講座等の実施件数	学校開放講座として利用できるようになった施設	34	H26 44	H26 31	0	0	中央公民館 ほか	開催数	
		2 ライフステージに応じた自主的な応じた学習機会 の提供	新たに生涯学習施設として利用できるようになった施設	0	H26 0	H26 0	0	0	社会教育スポーツ課(社会教育)	実績数	
		3 学習相談体制の充実	市民1,000人あたりのファミリーサポートセンター登録者数	474	H25 9.1	H25 10.4	11.4	43.8%	子育て支援センター	登録者数	R2 依頼会員680人・提供会員86人=766人 766人×1,000人=67,000人=11.4
		4 学習相談体制の充実	子育てに必要な情報を得たり相談したりすることができる	41.5%	H25 42.6%	H25 41.1%	43.8%	40.4%	市民意識調査	市民意識調査(満足・やや満足)	
		5 成果の活用と還元	子育ての不安や悩みなどを解消するためのサポートがなされている	34.7%	H25 36.9%	H25 37.4%	40.4%	52.9	市民意識調査	市民意識調査(満足・やや満足)	
		6 成果の活用と還元	学校図書の一入あたりの貸出し冊数	57.1	H25 60	H25 55.6	52.9	122	教育総務課	各校貸出冊数の合算	
		7 成果の活用と還元	熟年者を対象とした講座の実施回数	122	H25 169	H25 -	-	健康づくり課	健康関連講座開催数	R元～熟年に関する健康教室はなし	
		8 成果の活用と還元	塩尻ロマン大学の講座数・参加者数	52	H25 50	H25 50	40	40	社会教育スポーツ課(社会教育)	R元 長寿課から社会教育課に移管	
		9 成果の活用と還元	塩尻ロマン大学の講座数・参加者数	146	H25 102	H25 79	73	32.2%	社会教育スポーツ課(社会教育)	R元 長寿課から社会教育課に移管	
		10 成果の活用と還元	週1回以上スポーツ活動を行う市民の割合	31.1%	H26 31.7%	H26 31.7%	32.2%	45.4%	市民意識調査	市民意識調査	
4 学習相談体制の充実	1 自立した活動団体の育成	1 特定健康診受診率	特定健康診受診率	41.8%	H25 44.8%	H25 45.1%	45.4%	31.2%	健康づくり課	健康づくり課数値	
		2 健康・スポーツにおける成果の還元	週2回以上1回30分以上の運動習慣がある人の割合	38.7%	H25 33.2%	H25 32.9%	31.2%	62.2%	健康づくり課	健康づくり課数値	
		3 学習情報の収集と提供	生活習慣を改善してみようと思う人の割合	27.5%	H25 62.7%	H25 62.2%	62.2%	8,000	健康づくり課	健康づくり課数値	
		4 学習相談体制の充実	市主催芸術文化事業への来場者数	20,629	H26 6,950	H26 7,000	1,200	24.8%	社会教育スポーツ課(社会教育)	芸術文化事業来場者数	
		5 成果の活用と還元	市の生涯学習の取り組みを知っている市民の割合	180日	H26 180日	H26 180日	206	4	市民意識調査	市民意識調査(よく知っている・知っている)	
		6 成果の活用と還元	社会教育指導員の活動日数	180日	H26 180日	H26 180日	206	4	市民意識調査	市民意識調査	
		7 成果の活用と還元	総合文化センター登録団体数	231	H26 218	H26 220	206	4,764	社会教育スポーツ課(社会教育)	公共施設予約システム数値(行政・各種団体除く)	
		8 成果の活用と還元	地域スポーツ団体数	2	H26 3	H26 3	3	24	社会教育スポーツ課	社会教育スポーツ課数値	
		9 成果の活用と還元	総合文化センター利用団体数	7,928	H25 7,170	H25 6,886	4,764	45.4%	社会教育スポーツ課(社会教育)	公共施設予約システム利用者数	
		10 成果の活用と還元	市民権の芸術・文化事業の展示・発表団体数	126	H26 160	H26 160	24	41.3%	社会教育スポーツ課(社会教育)	社会教育スポーツ課実績数	
5 成果の発表・活用と地域への還元	1 地域課題を自ら解決する体制の推進	1 特定健康診受診率(再掲)	特定健康診受診率(再掲)	41.8%	H25 44.8%	H25 45.1%	45.4%	41.3%	健康づくり課	健康づくり課数値	
		2 住民同士の助け合いや地域交流の促進	互いに支え合い、助け合う人間関係が地域に築かれている	51.3%	H26 38.0%	H26 38.7%	41.3%	28.9%	市民意識調査	市民意識調査(満足・やや満足)	
		3 学習情報の収集と提供	市民が中心となったまちづくり活動が活発に行われている	35.1%	H26 32.2%	H26 29.4%	28.9%	2	市民意識調査	市民意識調査(満足・やや満足)	
		4 学習相談体制の充実	市民交流センターの市民営に向けた提案事業委託数	0	H25 2	H25 2	2	799	市民交流センター	市民交流センター数値	このほか、おひり、市民大学プラットフォームを生かした市民講座事業(当面この2事業で限定)
		5 成果の活用と還元	地域活性化支援事業交付金を活用した事業の参加者数	305	H25 786	H25 622	799		地域づくり課	地域づくり課数値	交付金を活用した公園づくり事業などに参加した区民の人数

スポーツ推進計画の指標及び推進状況

基本目標1 子どものスポーツ機会の充実	第1期中期戦略			第2期中期戦略			第3期中期戦略					
	指標	基準値 (H25)	目標値 (H35)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
スポーツ少年団登録団員数	570人	570人	570人	498人	511人	501人	472人	522人	521			

基本目標2 ライフスタイル・ステージに応じたスポーツ活動の推進

指標	基準値 (H24)	目標値 (H35)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
	週1回以上スポーツに親しむ成人の割合(□は社会体育意識実態調査による)	【35.4%】	50.00%	28.60%	30.10%	32.90% 【40.0%】	31.70%	31.70%	32.20%		
子どもから高齢者まで誰でもスポーツに取り組める環境があると感じる人の割合	46.20%	50.00%	39.20%	36.80%	35.30%	32.10%	32.90%	36.40%			

基本目標3 スポーツを通じた地域づくり

指標	基準値 (H26)	目標値 (H35)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
	市内の総合型地域スポーツクラブの数	2クラブ	4クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ		

第1期中期戦略 ← 第2期中期戦略 → 第3期中期戦略

基本目標4 競技スポーツの振興

指標	第1期中期戦略		第2期中期戦略			第3期中期戦略			
	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
目標	H26実績	目標値 (H35)	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
基準値 (H26)	年1回	年3回以上	1	1	0	0			
トップアスリートとの交流事業の開催回数	1	1	1	1	0	0			

基本目標5 スポーツに関わる人材の育成

指標	第1期中期戦略		第2期中期戦略			第3期中期戦略			
	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
目標	H26実績	目標値 (H35)	H29実績 <td>H30実績</td> <td>R1実績</td> <td>R2実績</td> <td>R3実績</td> <td>R4実績</td> <td>R5実績</td>	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
基準値 (H26)	年1回	年1回以上	1回	1回	1回	0回			
指導者向けの講習・教室等の開催回数	1回	1回	1回	1回	1回	0回			

基本目標6 スポーツ施設の整備と有効活動

指標	第1期中期戦略		第2期中期戦略			第3期中期戦略			
	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
目標	H26実績	目標値 (H35)	H29実績 <td>H30実績</td> <td>R1実績 <td>R2実績 <td>R3実績 <td>R4実績 <td>R5実績</td> </td></td></td></td>	H30実績	R1実績 <td>R2実績 <td>R3実績 <td>R4実績 <td>R5実績</td> </td></td></td>	R2実績 <td>R3実績 <td>R4実績 <td>R5実績</td> </td></td>	R3実績 <td>R4実績 <td>R5実績</td> </td>	R4実績 <td>R5実績</td>	R5実績
基準値 (H25)	475,861人	475,000人	508,684人	474,213人	434,998人	304,363人			
スポーツ施設利用者数	516,169人	502,335人	508,684人	474,213人	434,998人	304,363人			

サービス内容	サービス指標	H30	R1	R2
資料の収集	蔵書数：51万5千点（雑誌、視聴覚資料は除く）	497,313	503,349	503,697
資料の整理・保存	蔵書数：51万5千点（雑誌、視聴覚資料は除く）	497,313	503,349	503,697
資料の提供	人口一人当たりの貸出冊数：10冊/年	9.93	9.96	9.72
レファレンスサービス	レファレンス受付件数（全館）：2016（平成28） 年度比20%増（2020年度：2,900件）	2,095	2,314	1,962
分館	レファレンス受付件数：2016（平成28）年度比20% 増（2020年度：1,760件）	1,154	1,478	1,408
乳幼児サービス・児童サービス	児童書の蔵書回転率：2冊を維持	1.79	1.87	1.83
青少年サービス	中高生の利用者数（全館）：5,500人以上を維持	5,038	5,291	4,994
高齢者サービス	高齢者が参加するイベント等で図書館を紹介する回数と 高齢者向け企画事業の開催回数合計：10回/年	11	18	10
図書館利用に障がいのある方へのサービス	サービス広報回数：6件以上/年	12	5	1
ビジネス支援サービス	ビジネス支援サービスの広報回数：10件以上/年 ビジネス相談会への相談件数：20件以上/年 ビジネス相談会を活用した創業者の誕生：1件以上/年	27 21 0	22 26 1	22 26 1
子育て支援サービス	図書館又は子育て関係部署と連携した出張図書館等企画 事業の実施：6回/年	27	20	19
多文化サービス	外国語で書かれた資料の購入：300冊/年	137	90	84
医療・健康情報サービス	市の担当部署や医療機関等と連携した企画事業の実施： 2回/年	1	1	0
図書館サポーターとの協働	登録者との意見交換会の開催：4回/年	4	4	4
郷土資料の充実と活用	郷土資料に関わる人物等の紹介や、郷土資料を生かした 企画事業の開催：3回/年	8	9	9
学校連携	学校司書の研修の機会：3回以上/年	6	6	6
企画事業	イベント参加人数（全館）：15,000人/年	18,386	17,816	9,109
情報発信	メディアに取り上げられる回数：200回/年	227	200	241
デジタル資料の充実と活用	デジタル資料アクセス数：900件/年 地域資料のデジタル化点数：300点/年	447 808	438 0	502 -

数値目標の内容	数値 (H25)	数値 (H29)	数値 (H30)	数値 (R1)	現在の数値 (R2)	目標数値 (R7)
① 学校図書館や地域の図書館の利用の割合※[1]						
児童数の割合 (小6年)	79.90%	74.50%		78.50%		85%
生徒数の割合 (中3年)	53.60%	60.00%		56.50%		60%
② 1日に読書をしている児童数の割合※2 (小6年)	87.30%	82.10%	85.20%	86.90%		90%
生徒数の割合 (中3年)	76.60%	76.20%	77.10%	78.20%		85%
③ 本と子どもをつなぐ事業への参加者数	8,959人	9,278人	10,201人	10,185人	6,312人	10,000人
おはなし会	3,745人	3,334人	4,930人	4,454人	2,504人	
おはなしプレセント	3,451人	4,586人	3,386人	3,323人	972人	
その他	1,763人	1,358人	1,885人	2,408人	2,836人	
④ 「こんにちは絵本」(ブックスタート)の配布率	98.40%	100.00%	100.00%	99.00%	100%	100%
「なかよし絵本」(セカンドブック)の配布率		68.00%	64.00%	59.00%	98%	100%
⑤ 子どもの読書環境の数値 団体貸出数	9,837冊	41,116冊	43,446冊	41,061冊	37,934冊	45,000冊

※[1] ①は、平成19年から毎年行われている「全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)」による数値。
 質問事項の「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌を除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか」による
平成30年度は①の質問事項がないため、集計できませんでした。

※2 ②は、平成19年から毎年行われている「全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)」による数値。
 質問事項の「学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」による

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で「全国学力・学習状況調査」が実施されなかったため①②の数値なし。

令和2年度 塩尻市教育委員会会議等記録

1. 教育委員

氏名	任期	
赤羽高志	教育長	令和元年6月27日～令和4年6月26日
小澤嘉和	教育長職務代理者	平成28年6月26日～令和2年6月25日
碓井邦雄	教育長職務代理者	令和2年6月26日～令和6年6月25日
嶋崎栄子	委員	平成29年7月1日～令和3年6月30日
石井勉	委員	平成30年6月22日～令和4年6月21日
小林夕香	委員	令和元年6月26日～令和5年6月25日

2. 定例・臨時教育委員会

期日	会議	案件	
4月23日	4月定例	報告案件	学校運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について
			塩尻市人権教育指導員の任命に係る専決処分報告について
			塩尻市人権同和教育集会所運営委員の委嘱に係る専決処分報告について
			塩尻短歌館協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			令和元年度中学校卒業生進路状況について<非公開>
			令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について<非公開>
		議事案件	令和2年度塩尻市奨学生の選考について<非公開>
その他案件	図書館協議会委員の任命について		
5月29日	5月定例	報告案件	学校運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について
			塩尻市教育支援委員の委嘱に係る専決処分報告について
			塩尻市元気っ子応援協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			檜川地区文化施設協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			塩尻市文化会館の指定管理者について
			塩尻市立博物館協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			本洗馬歴史の里協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
		市民交流センターの免震オイルダンパーの交換工事について	
その他案件	教育委員会関係補正予算について<期間限定非公開>		
6月25日	6月定例	報告案件	市議会6月定例会報告
			塩尻市人権教育推進委員会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			令和2年度塩尻市立小中学校の休業日の変更に係る専決報告について
			第34回全国短歌フォーラムin塩尻について
7月30日	7月定例	報告案件	学校運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について
		議事案件	令和3年度から使用する中学校の教科用図書の採択について<期間限定非公開>
			令和3年度に使用する特別支援学級用教科用図書の採択について<期間限定非公開>
その他案件	教育委員会事務局に係る例規の改正(案)について<期間限定非公開>		

期日	会議	案 件	
8月27日	8月定例	その他案件	第34回全国短歌フォーラム in 塩尻（一般の部）投稿数
			教育委員会関係補正予算（案）について<期間限定非公開>
9月25日	9月定例	報告案件	新春書初め大会の開催中止について
		議事案件	塩尻市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則について
10月29日	10月定例	報告案件	塩尻市議会9月定例会報告
			令和3年塩尻市成人式の開催について
			重要文化財の新規指定について
11月26日	11月定例	議事案件	塩尻短歌館の冬季平日一時休館について
			奈良井木曾平沢伝建地区保存計画の変更について
			塩尻市教職員住宅管理規則の一部を改正する規則
			新塩尻市立博物館基本構想検討委員会設置要綱について
		その他案件	教育委員会事務局に係る例規の改正（案）について<期間限定非公開>
			教育委員会関係補正予算（案）について<期間限定非公開>
12月24日	12月定例	報告案件	新塩尻市立平出博物館基本構想検討委員会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			成人式（令和3年1月10日）の延期について
		議事案件	塩尻市総合体育館管理規則
			塩尻市総合体育館条例の施行期日を定める規則
			塩尻市体育施設管理規則の一部を改正する規則
			教職員の指導上の措置について<非公開>
その他案件	教育委員会事務局に係る例規の改正について		
1月28日	1月定例	報告案件	塩尻市議会12月定例会報告
		議事案件	塩尻市教育振興審議会委員の委嘱について
2月25日	2月定例	議事案件	塩尻市木曾平沢伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について
			塩尻市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則
			自家用車の公務取扱規程の一部を改正する訓令
			塩尻市職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部を改正する訓令
			塩尻市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令
			塩尻市文化財保存活用地域計画協議会設置要綱
		その他案件	教育委員会事務局に係る例規の改正（案）について<期間限定非公開>
			令和2年度教育委員会関係補正予算（案）について<期間限定非公開>
			令和3年度教育委員会関係予算（案）概要<期間限定非公開>
			新塩尻市立平出博物館基本構想検討委員会の中間報告について<非公開>
3月25日	3月定例	報告案件	市議会3月定例会報告
			令和3年度教育センター研修講座について
			令和3年度塩尻市立小中学校の休業日に係る専決報告について
			教育委員会事務局4月1日付人事異動について
			長野県公立高等学校入学者選抜の結果<非公開>
		議事案件	学校職員の指導上の措置について<非公開>
			第3次子ども読書活動推進計画について<期間限定非公開>
			塩尻市有形文化財の新規指定について
			教育委員会個別計画の見直しについて

3. 協議会

期日	協議事項
4月23日	教育委員の任命について 主幹指導主事訪問について 関係団体からの依頼について
5月29日	新型コロナウイルスに対する社会教育・社会体育施設の対応について（社会教育課） 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る臨時休校等の対応について（教育総務課） 教育委員の退任・就任について
6月25日	「塩尻市要保護児童対策地域協議会代表者会議」について（報告） 「塩尻市元気っ子応援協議会」について（報告）
7月30日	総合教育会議の議題について 塩尻市社会福祉協議会理事の推薦について 教育事務支援室について
8月27日	総合教育会議について
9月25日	塩尻短歌館の冬季平日一時休館について こんにちは教育委員会及び諸表簿・施設等点検について 教育委員視察研修について
10月29日	教育委員会規則の改正について 教育委員研修視察について 教育委員会自己点検・評価について
11月26日	教育委員研修視察のまとめについて 教育委員会自己点検・評価について
12月24日	保育業務支援システムの導入について 令和2年度教育委員会開催日程について
1月28日	小中学校の卒業式・入学式等の今後の来賓対応について 令和3年度教育委員会開催日程（案）について
2月25日	第3次子ども読書活動推進計画について（図書館） 各課個別計画の見直しについて 塩尻市明るい選挙推進協議会委員の推薦について
3月25日	令和3年度コミュニティ・スクールについて 義務教育学校開校準備の経過報告について 令和3年度 家庭支援課の新規事業について 年度末・年度始諸行事について 令和2年度の教育委員会活動について

4. 教育委員研修

11月13日 市内文化施設

教育委員研修視察

5. 諸表簿・施設等点検

11月 2日 塩尻中学校

11月12日 塩尻東小学校

11月20日 吉田小学校

11月25日 塩尻西小学校

6. 教育委員会関係の主な行事

期日	担当課	行事名
6月20日	交流支援課	えんぱーく科学館
2月23日～ 6月30日	平出博物館	企画展 「塩尻の出土品大集合」～洗馬地区の考古学調査～
6月12日～ 6月30日	図書館	信州しおじり本の寺子屋企画展 えんぱーく10周年記念展 塩尻市立図書館の歩み
7月1日	図書館	えんてらす開館1周年 広丘図書館 記念品配布
7月2日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「もらえるお金最新情報～使える支援を全て使い、 アフターコロナに備えよう～」
5月15日～ 7月5日	自然博物館	特別企画展「カカトアルキ展」
7月11日	子育て支援センター	えんぱーく10周年企画 家族でおいでおいでまつり2020
7月11日	交流支援課	えんぱーく10周年企画 家族でおいでおいでまつり2020 (交流支援課ブース)
7月11日	図書館	えんぱーく10周年企画 家族でおいでおいでまつり2020 (図書館ブース)
7月12日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 目指せ！ 図書館マスター 開校式・第1回講座
7月13日	子育て支援センター	第1回子育てサポーター養成講座
7月16日	図書館	DVD鑑賞会①
7月18日	交流支援課	第1回 ちびてつ2020
7月18日	平出博物館	第1回土曜サロン 「石器組成にみる縄文人の生業」
7月19日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 後藤 正治氏 講演会 「言葉のカー『清冽』(中公文庫)より ～詩人茨木のり子の肖像～」
7月25日	図書館	しおり部
7月26日	図書館	子ども本の寺子屋 目指せ！ 図書館マスター 第2回
7月4日～ 7月28日	図書館	えんぱーく開館10周年企画 今村幸治郎原画展
7月30日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「お客様をお得意様に変える！ リピート率を簡単に高めるセミナー」
8月1日	交流支援課	市民交流センター(えんぱーく) 開館10周年記念式典・対談、記念イベント(マルシェ、ギャラ リー、フォトスポット、子ども向けイベントなど)
8月6日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 鎌田 和宏氏 講演会 「これからの教育と読書・学校図書館～新学習指導要領実施元 年で考えたいこと～」
8月8日～ 8月9日	交流支援課	第1回tent ～学校とはちょっと違う学び～
8月10日	図書館	パブリックビューイング会場 県立長野図書館主催「これからの公共について考えるための対 話」シリーズ 第3回「“みんな”が紡ぐものがたり：図書館・まち・デモク ラシー
8月14日	図書館	しおり部活動第3回 「書店選書ツアー」
8月14日	広丘公民館	戦後75周年特別企画の学習会

期日	担当課	行事名
8月14日～ 8月15日	図書館	戦後75周年特別展示 「写真週報・戦時のプロパガンダ誌」
8月15日	交流支援課	ちびてつ第2回
7月18日～ 8月23日	自然博物館	特別企画展「夏休み昆虫展」
8月1日～ 8月31日	図書館	『おいしいのぼうけん』複製画展
8月1日～ 8月31日	図書館	『中央アルプス国定公園』制定記念展
8月22日	図書館	しおり部活動第3回 「書店選書ツアー②」
8月22日	子育て支援センター	こども広場10周年記念イベント
8月23日	平出博物館	釜井庵寺子屋塾① 「高遠藩殿様洗馬郷巡村」
8月23日	図書館	子ども本の寺子屋 目指せ！図書館マスター 第3回
8月24日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会 伊東直登氏講演会 「これからの図書館を一緒に考えてみませんか」
8月27日	図書館	DVD鑑賞会②
8月30日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会 中上紀氏講演会 「読むこと、書くこと、旅すること」
9月5日	図書館	子ども本の寺子屋 目指せ！図書館マスター 第4回
9月6日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会 地域文化サロン そらしど氏、高山秀士氏講演会 「対談：日本の中の塩尻ワイン」
9月12日	図書館	全国高校生ビブリオバトル 長野県大会
9月12日	子育て支援センター	マタニティママ&パパ応援講座
8月1日～ 9月13日	平出博物館	企画展 「ひらいで発掘物語」
9月19日 10月8日	交流支援課	シトラスリボン作り講座
9月20日	図書館	子ども本の寺子屋 目指せ！図書館マスター 第5回
9月24日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「勤どころを押さえてものづくり補助金をゲット！」
9月21日 9月27日	図書館	しおり部
9月27日	平出博物館	釜井庵寺子屋塾② 「岩波其残の人生と作品の魅力」
10月3日	平出博物館	平出歴史大学① 「鉄炮が変えた戦国の城」
10月3日	図書館	子ども本の寺子屋 目指せ！図書館マスター 最終回
10月4日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会 岩瀬成子氏講演会 「ずっと子どもを書いてきました」
10月10日	交流支援課	ちびてつ第3回
10月15日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「2時間で完成！簡単ホームページ作成講座」
10月17日	図書館	第70回長野県図書館大会 分科会サテライト会場
10月17日	自然博物館	赤沢自然休養林自然観察会
10月17日 10月18日	交流支援課	第2回tent ～学校とはちょっと違う学び～
10月18日	図書館	『パブリック 図書館の奇跡』座談会 Re:Publicの逆襲
10月20日	図書館	シニア向け図書館活用講座

期日	担当課	行事名
10月22日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「やってみよう！スマホで動画配信はじめの一步」
10月24日	自然博物館	自然博物館協力会研修会
10月24日	平出博物館	第3回土曜サロン 「石器生産と流通にみる弥生文化」
10月25日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 春日太一氏講演会 『信州を舞台にした時代劇の魅力』
10月25日	教育総務課	こども未来塾 小学生リーダー研修
10月25日	家庭支援課	元気っ子講演会
10月18日 10月31日	図書館	しおり部
10月31日	図書館	檜川分館移転1周年記念 スペシャルおはなし会
11月1日	子育て支援センター	えんてらす1周年記念イベント 壁画から始まる物語 ～人と人の心をつなぐ絵本の世界～
11月1日	教育総務課	English Day in Shiojiri 2020 中学生の部
11月1日～ 11月3日	社会教育課	塩尻市民文化祭・展示発表の部
11月3日	図書館	読書週間スペシャルデー
11月3日	交流支援課	読書週間スペシャルデー (交流支援課ブース)
11月4日	図書館	塩尻市立図書館 YouTubeバーチャルツアー
11月8日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 古田晁記念館文学サロン 第1部 阿佐元明氏講演会 『この町から本が生まれる』 第2部 松本侑子氏講演会 『古田晁が敬愛した太宰治と「人間失格」』
11月8日	平出博物館	洗馬歴史講演会 「謎多き名工 奥田信斎の生涯と作品」
9月5日～ 11月8日	自然博物館	特別企画展「野鳥の切り絵展」 ～信州野鳥の会会員・中村照男が切り取る世界～
11月15日	こども課	児童館まつり
11月19日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「アフターコロナ これからの働き方はこうかわる」
11月20日	家庭支援課	児童虐待防止研修会
11月21日	交流支援課	第4回 ちびてつ2020
11月21日	平出博物館	地域連携講座 「しおじりの山城を巡る ～憑の城～」
11月22日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 丸山貢一氏講演会 『コラム＜斜面＞の舞台裏』
11月26日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「自分のペースではじめる『副業/複業のカタチ』」
11月26日	図書館	DVD鑑賞会③
11月28日	自然博物館	第46回自然科学講座
11月28日	平出博物館	歴史文化セミナー 「善光寺巡礼の道～今に伝える先人の祈り～」
11月29日	平出博物館	平出歴史大学② 「古写真にみる幕末・明治初期の日本」
11月29日	教育総務課	こども未来塾中学生リーダー研修 (翌年度生徒会役員を対象に開催)
11月6日～ 11月29日	図書館	錦鯉野アキコの ボトルディギングと黒板アート展
11月1日～ 11月29日	図書館	ねずみくんのチョコッキ 45周年複製原画展
11月1日～ 11月30日	家庭支援課	児童虐待防止推進月間

期日	担当課	行事名
12月5日	男女共同参画・若者サポート課	豊かな心を育む市民の集い ・人権啓発講演会【中止】 「こども食堂の目指すもの」 NPO法人ホットライン信州 専務理事 青木正照 氏 ・シトラスリボン運動の紹介【中止】 ・人権パネル展 ・同時開催「叫ぶ芸術」展
12月12日～ 12月13日	交流支援課	第5回こどもしおじりmini
10月29日～ 12月13日	交流支援課	コラボ企画 × シトラスリボン
12月15日	図書館	えんぱーくレコード交流会
12月17日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「Googleの無料機能を使ってホームページをバージョンアップ」
12月19日	平出博物館	第4回土曜サロン 「黒曜石の原産地をさぐる」
12月19日	自然博物館	犀川白鳥湖水鳥観察会
12月19日	スポーツ推進課	第61回塩尻市民体育祭冬季大会 スケート競技会 第41回塩尻市・朝日村ジュニア スケート競技会
12月19日	交流支援課	第5回ちびてつ2020
12月19日	子育て支援センター	こども広場 あ・そ・ぼ クリスマスコンサート
12月20日	図書館	子ども本の寺子屋 「絵本&わらべうたファミリーコンサート」
12月26日～ 12月27日	交流支援課	第3回tent ～学校とはちょっとちがう学び～
12月1日～ 12月28日	図書館	いせひでこ絵本原画展 『ざしき童子のはなし』 『よだかの星』
1月7日～ 1月10日	交流支援課	コラボ企画 × シトラスリボン
1月13日	家庭支援課	元気っ子研修会
1月7日～ 1月24日	図書館	松本山雅FC2020シーズン写真展
1月28日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「売れてるお店がやってるコト（陳列編）」
11月21日～ 2月7日	自然博物館	木のおもちゃ展
2月20日	交流支援課	第6回ちびてつ2020
2月27日～ 2月28日	交流支援課	第8回こどもアトリエタウン
1月28日～ 2月28日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 『絵と、本のある暮らし』 柗有花原画展
2月28日	図書館	子育て世代向けオンライン絵本講座
3月6日	交流支援課	第7回ちびてつ2020
3月6日	男女共同参画・若者サポート課	国際女性デー HAPPY WOMAN FESTA (ハッピーウーマンフェスタ)
2月22日～ 3月11日	交流支援課	コラボ企画 × シトラスリボン
3月11日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー SNSで集客・売上アップ 「事業者のためのSNS活用セミナー」
3月13日～ 3月14日	交流支援課	第5回tent ～学校とはちょっとちがう学び～
1月22日～ 3月26日	家庭支援課	元気っ子研修会 オンライン配信

7. 「広報しおじり」特集等記事掲載

掲載号	ページ数	担当課	記事名
5月号	1	教育総務課	表紙の写真「木曾檜川小学校に、新入生が元気に入学しました」
5月号	2	社会教育課	特集「想いを紡ぐ短歌と塩尻」
5月号	1	家庭支援課	里親を必要としている多くの子どもがいます
5月号	1	子育て支援センター	みんなで支える塩尻市の子育て
6月号	1	北部交流センター	えんてらす1周年
7月号	1	えんぱーく	表紙の写真「久しぶりの図書館おはなし会。市民交流センター「えんぱーく」は、今年10周年を迎えます。」
7月号	12	えんぱーく	特集「“えん”が生まれるまち—知恵の交流がつくった10年—」
8月号	1	えんぱーく	表紙の写真「夏の恒例イベント「おいておいて祭り」。来場者は、工作体験などさまざまな催しを楽しんでいました。」
9月号	1	こども課	表紙の写真「やさしいころになれますように」「おおきくなったらあいすやさんになれますように」など短冊に願いを込める園児たち
9月号	2	新体育館建設プロジェクト	総合体育館開館まで7カ月
10月号	1	こども課	表紙の写真「塩尻駅ホームのぶどうを園児たちが一生懸命収穫しました。」
11月号	1	えんてらす	表紙の写真「えんてらす20万人&広丘図書館10万人来場記念」
11月号	2	男女共同参画・若者サポート課	「子供・若者育成支援強調月間」
11月号	1	家庭支援課	児童虐待防止推進月間
11月号	1	こども課	児童クラブ等申請のご案内
12月号	6	教育総務課	特集「チャレンジが子どもを育む」
12月号	1	教育総務課	タブレットを使った授業が始まります
1月号	6	新体育館建設プロジェクト	4月始動。YOUMEX ARENA（ユメックスアリーナ）
3月号	2	新体育館建設プロジェクト	YOUMEX ARENA（ユメックスアリーナ）イベント



**令和3年度
教育委員会自己点検・評価報告書**

令和4年2月

塩尻市教育委員会
(塩尻市こども教育部教育総務課)

長野県塩尻市大門七番町4番3号
電話 (0263) 52-0280 (代)
ホームページ <http://www.city.shiojiri.lg.jp/>
